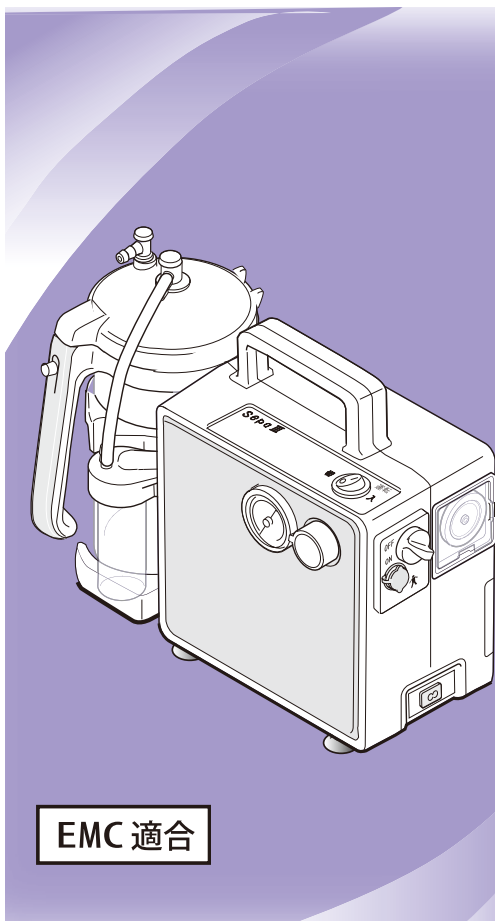


取扱説明書

ポータブル吸入器付吸引器

セパⅢ (NS3)

認証番号：305ADBZX00014000



もくじ

はじめに.....	2
安全のために	3
使用上の注意	4
各部の名称	8
吸引をする	
1. 準備.....	10
2. 吸引する	12
3. 使用後の取扱い.....	14
4. 在宅での使用後の取扱い.....	18
5. 滅菌・消毒について	20
参考資料	22
6. 消毒後について.....	24
吸入をする	
1. 準備.....	29
2. 吸入する	33
3. 使用後の取扱い.....	34
4. 滅菌・消毒について	36
参考資料.....	38
使用後の処置について	40
保守・点検について	
1. 日常点検	42
2. 定期点検	43
3. 保守点検チェックリスト.....	44
故障かな？と思われたら	46
オプション・交換部品について	49
仕様	58
廃棄について	59
EMC 技術資料.....	60
アフターサービスについて	62



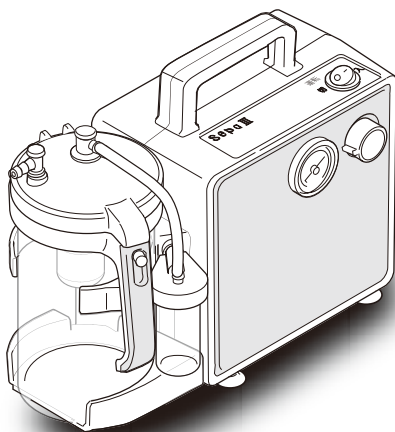
この度は、ポータブル吸入器付吸引器 セパⅢをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、
本書は必要ときにすぐに使えるように、手近な所に大切に保管しておいてください。

はじめに

この度は、ポータブル吸入器付吸引器「セパⅢ」をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品は、AC100V(50Hz/60Hz) で使用するポータブル吸入器付吸引器です。任意の吸引圧力で喀痰吸引を行う吸引機能と、ネブライザーを用いて行う吸入機能を備えています。

トラップ管を標準装備し、トラップ管内にフィルターを設けましたので、ミスト状吸引物のポンプ内への浸入を軽減します。



EMC 適合

本製品はEMC規格 IEC60601-1-2:2014に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。本書に従って、正しい取扱いをしてください。



安全にお使いいただくために

医療機器は、その故障や不具合の発生による医療の中断が、患者さんの命に直接的および間接的にかかわる場合があります。

必ず使用前の日常点検、3ヶ月に1度の保守点検（ユーザー点検）を行ってください。また、2年に1度の製造販売元または医療機器修理業者による定期点検（メーカー点検）をお受けください。（定期点検は有料となります）

安全のために

安全のための注意をお守りください。

この取扱説明書には安全にご使用いただくための重要な注意事項が掲載されております。

ご使用になる前に必ずよくお読みください。

警告

機器が正常な作動で使用ができて、この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

禁忌・禁止

機器の使用目的以外の誤った取り扱いや、ご使用できない患者、疾患、併用できない医療機器や接続機器などについての事項です。この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

注意

警告または禁忌・禁止以外の、ご使用上のお守り頂きたい注意事項や機器の保管やメンテナンスを行う上での注意についての事項です。この事項をお守りにならない場合には、機器の正常な性能が得られず、医療行為に障害が発生したり、機器の不具合が発生する場合があります。



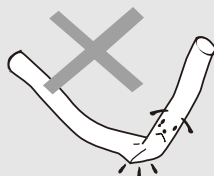
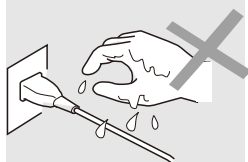
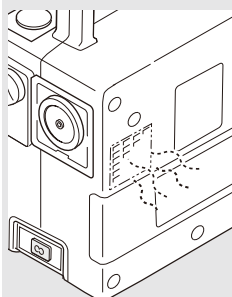
必ず実行していただくことや、守って頂きたいこと。(強制)

使用上の注意

！ 警 告

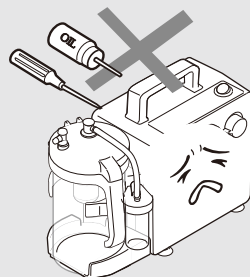
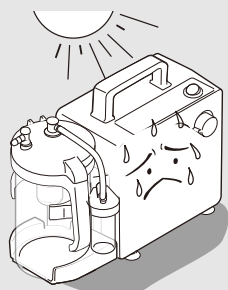
使用上の注意

- 医師または医療従事者の指導により使用してください。
- 本書に従った保守点検を必ず行ってください。
- 吸引物を本体内部に吸い込んだ場合は、内部配管に溜まる危険があるため、必ず製造販売元または医療機器修理業者による点検を受けてください。
- 吸引ホース、吸引ボトルセットは洗浄後必ず滅菌または消毒をしてください。(在宅の場合は必要に応じて、滅菌・消毒をしてください。)
- 初めて使用する時、または長期間使用しなかった時は、必ずネブライザーキット本体、ネブライザーホース等を洗浄・消毒してから使用してください。
- 複数の患者が使用する場合は、必ず患者ごとに消毒済みのネブライザーキット本体、ネブライザーホース等を使用してください。
- 薬液の種類・用量・用法を必ず守ってください。
- 残った薬液は全て廃棄し、吸入ごとに新たな薬液を使用してください。
- 本体背面の通気口を塞がないでください。(本器に熱がこもり故障の原因となります)
- 濡れた手で電源コードや電源プラグを触らないでください。感電によるケガをするおそれがあります。
- ホース類が折れ曲がらないように注意してください。
- 消耗品は定期的に交換してください。交換の際は必ず当社純正部品を使用してください。



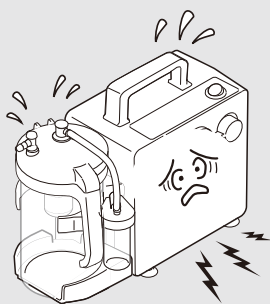
禁忌・禁止

- 本器の使用目的以外の目的（採血用など）では絶対に使用しないでください。
- 規定以上の運転はしないでください。（吸引：6時間まで、吸入：30分まで）規定以上の連続運転をした場合は、発熱等により部品の劣化やにおいが発生することがあります。
- 直射日光の当たる場所、高温・高湿になる場所に設置しないでください。
- 分解・改造はしないでください。
- 薬液以外の吸入はしないでください。
- 本体各部に注油しないでください。
- ネブライザーキットを EOG（エチレンオキシドガス）滅菌しないでください。



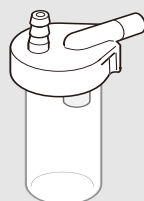
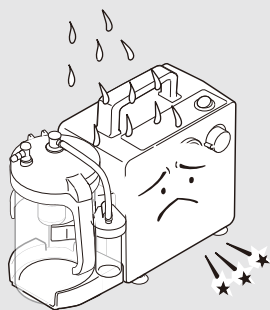
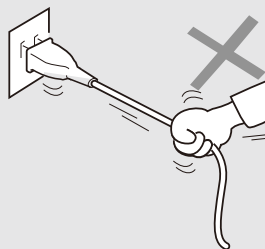
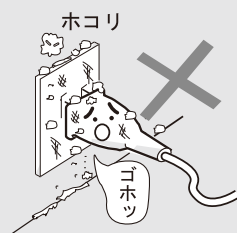
注意

- 使用前に必ず本書を読み、理解してから使用してください。
- 本器および患者に異常がないことを絶えず監視してください。
- 本器および患者に異常が発見された場合は、機器を止め修理を依頼するなど適切な措置を行ってください。
- 電源の電圧、周波数および許容電流値に注意してください。
- 吸引圧力は必ず医師の処方に従い、使用前に吸引圧力の設定が適切であることを確認してください。



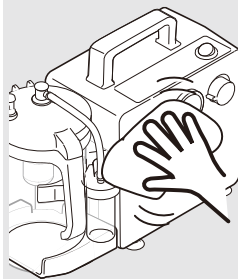
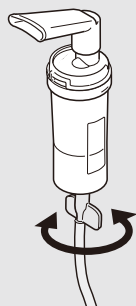
！ 注 意

- 吸引圧力が残ったまま（真空計の針が0に戻っていない状態）、運転スイッチを「入」にしないでください。作動しなくなるおそれがあります。
- 吸引ホース、吸引ホース口、吸引ボトルセットは、洗浄・乾燥が不十分だとカビ（黒またはピンク）が発生する可能性があります。ご使用後の洗浄・乾燥は十分に行ってください。
- 本器は電源プラグの抜き差しで電源（商用）から切り離すことができます。電源プラグの抜き差しの妨げになる場所には設置しないでください。
- 電源コードを傷つけないでください。コードの上に物を置かないでください。
- 振動や衝撃を与えず、水平な安定した場所で使用してください。
- 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグやコンセントに「ほこり」を溜めないように清掃してください。コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ずプラグを持って抜いてください。断線やショートにより、感電や火災などの原因となることがあります。
- 水がかからないように注意してください。
- トラップ管は吸引物が吸引ボトルを通過してしまった場合に、吸引物を溜める場所のため、常に空の状態で使用してください。（消毒剤などを入れないこと）
- 吸引物は早めに捨ててください。



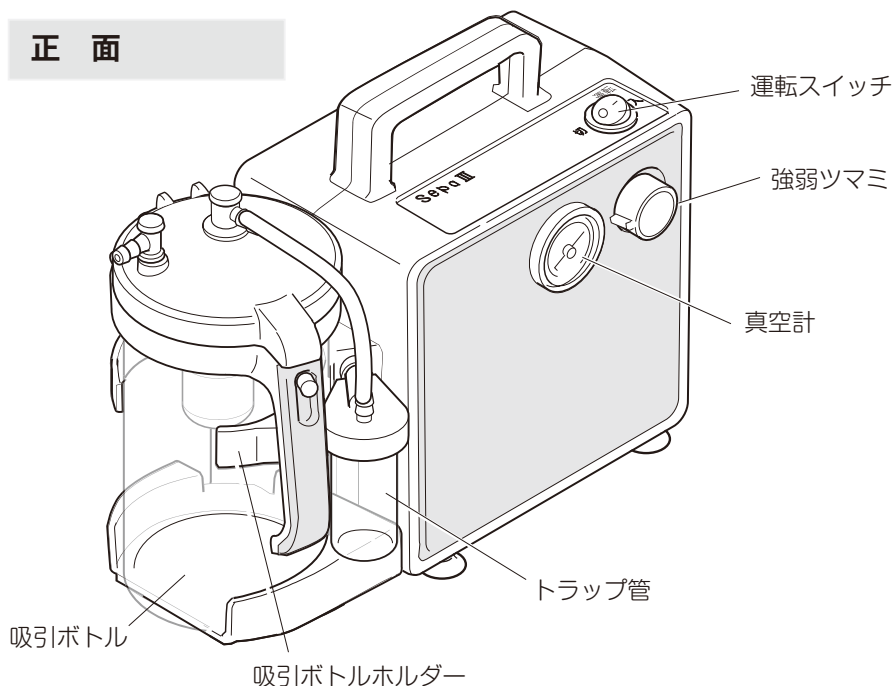
！ 注 意

- ネブライザーホースによじれや折れがないか、またホースの中に異物がないか確認してください。閉塞により噴霧できなくなります。
- ネブライザーキットは乳幼児の手の届くところに置かないでください。特に分解・洗浄時は注意してください。(小さな部品を飲み込んでしまう危険性がある)
- ネブライザーキットをお子様を使用する場合は、保護者が必ず付き添ってください。
- ネブライザーホースを外すときは、ホースを回しながらゆっくりと外してください。上下左右に引っ張ると、破損するおそれがあります。
- ネブライザーキット等を煮沸法により消毒する場合は、空焚きに注意してください。
- 小さな部品の紛失に注意してください。
- 本器は周囲温度 10 ～ 40℃、相対湿度 30 ～ 75% の環境で使用してください。
- 定期的な清掃や点検をしてください。本器を永く安全にお使いいただくため、また突然の故障等を防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検(ユーザー点検)および定期点検を行ってください。(42 ページ参照)
- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用してください。
- 連続運転(6 時間以内)時は、本体内部の温度上昇により安全装置が働き、停止するおそれがあります。連続運転での使用後は十分に冷却してから、再度ご使用ください。
- 本器(付属品・オプション品を含む)を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。環境汚染の原因となることがあります。

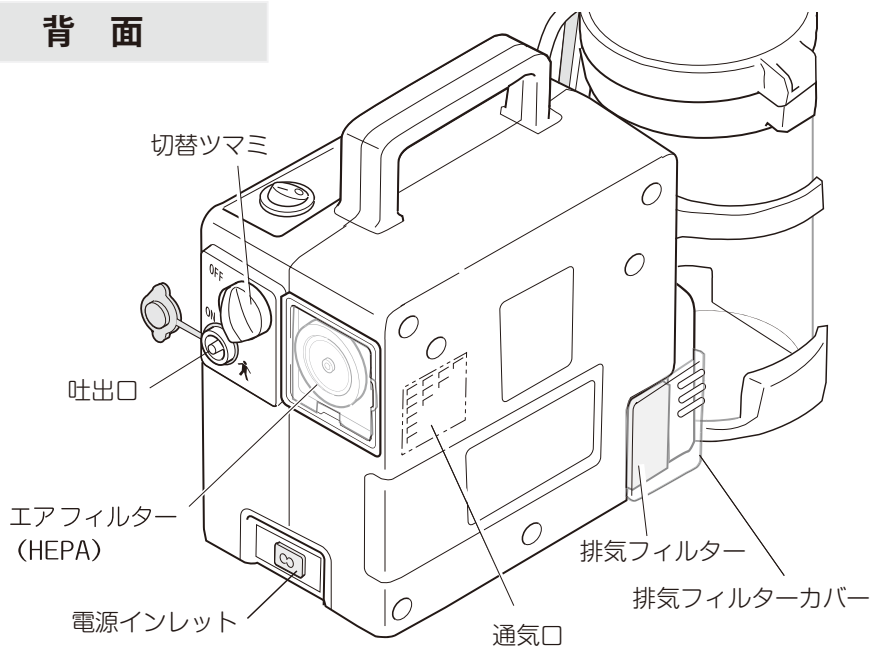


各部の名称

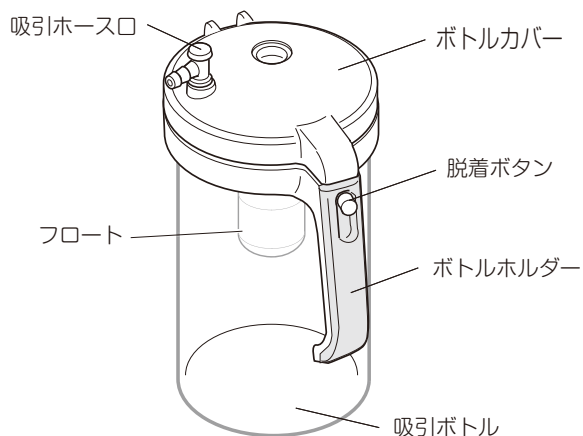
正面



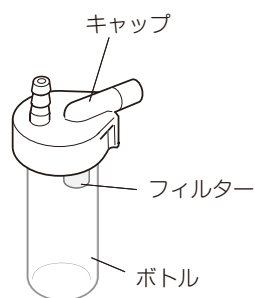
背面



吸引ボトルセット



トラップ管

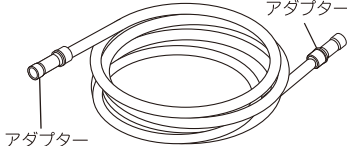
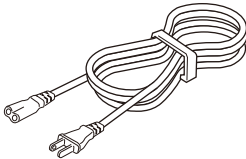

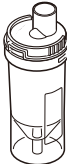

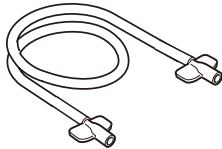
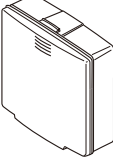




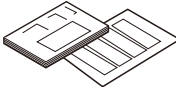


各部の名称

標準付属品

ご使用になる前に、付属品の欠品がないかご確認ください。

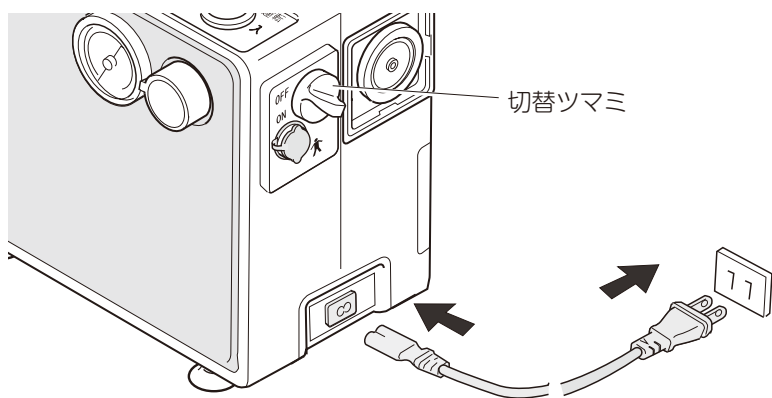
* マークがついている部品はネブライザーキット収納ケース内に入っています。

<p>吸引ホース (アダプター付)</p> <p>アダプター</p>  <p>アダプター</p>	<p>AC電源コード</p> 	<p>エアー フィルター (予備)</p> 		
<p>ネブライザー キット *</p> 	<p>ネブライザーキット ホルダー</p> 	<p>ネブライザーホース *</p> 	<p>ネブライザー キット 収納ケース</p> 	
<p>マウスピース *</p> 	<p>マスク (小) *</p> 	<p>L 型ジョイント *</p> 	<p>フィルター (予備)</p> 	<p>取扱説明書 クイックマニュアル</p> 

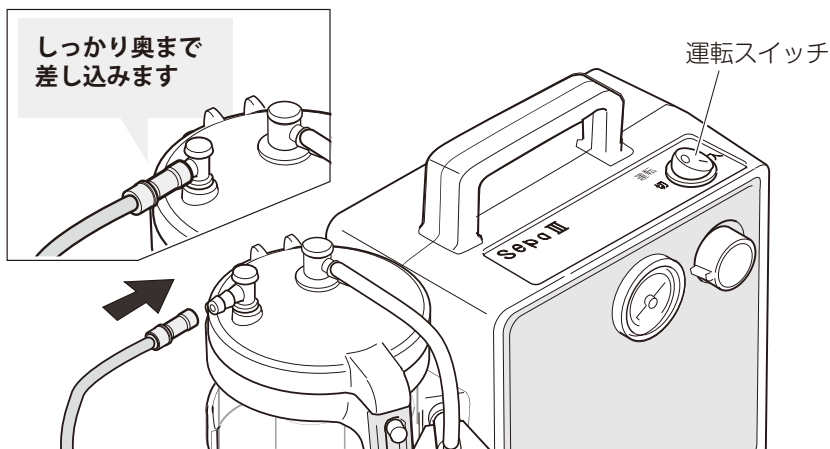
吸引をする

1. 準備

- 1 本器を水平な安定した場所に置いてください。
 - 各部品が漏れのないように取り付けられていることを確認してください。
- 2 切替ツマミが「OFF」になっていることを確認してください。
- 3 付属のAC電源コードのプラグを本体側面の電源インレットに差し込み、反対側の電源プラグをコンセントに差し込みます。



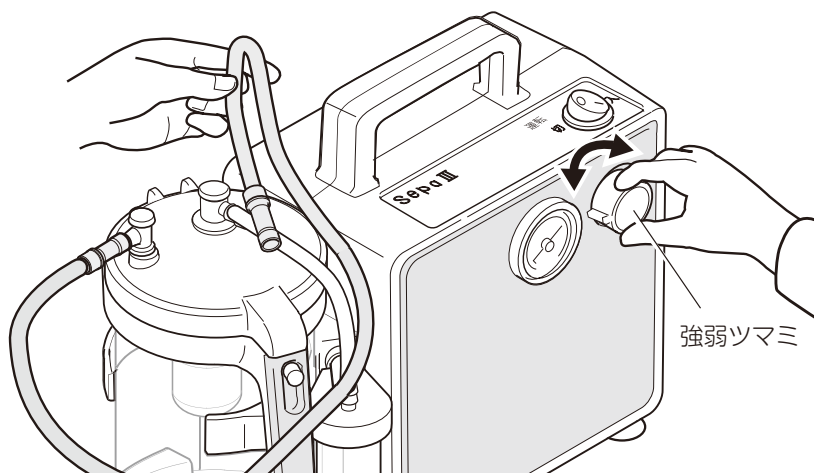
- 4 吸引ホース口に吸引ホースを取り付けます。この時、吸引ホースはしっかり奥まで差し込みます。その後運転スイッチを「入」にします。



5

吸引ホースを指で折り曲げ、真空計を見ながら強弱ツマミを回し、必要な圧力（医師の処方した圧力）に調整します。

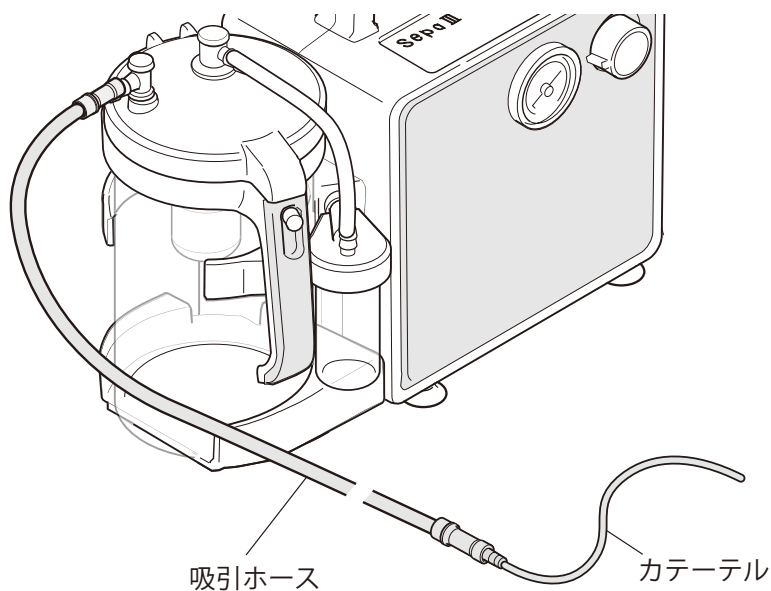
- 調整が出来たら、一度運転スイッチを「切」にします。



吸引をする

6

吸引ホースにカテーテル（市販品）を接続します。



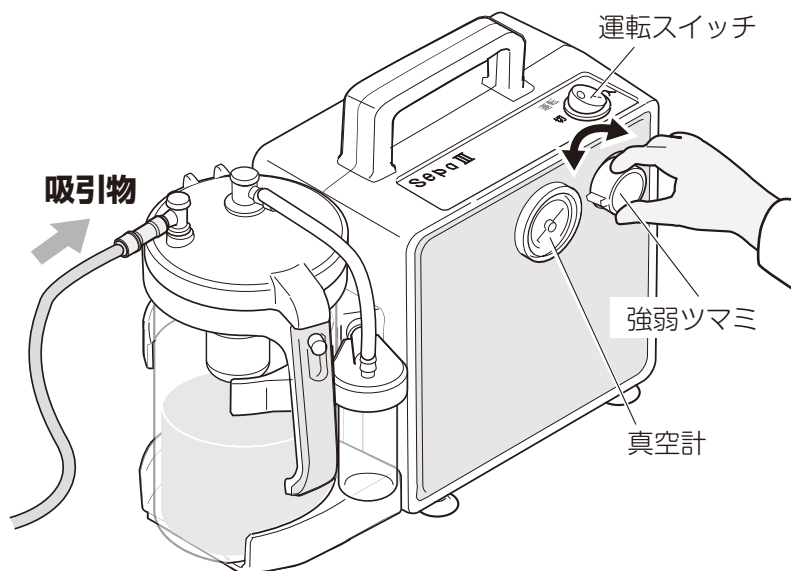
2. 吸引する

- 1 運転スイッチを「入」にします。
- 2 カテーテルの先端を口腔、咽頭、鼻腔等の処置部へ挿入し、吸引を行います。(吸引方法の詳細は、医師の指示に従ってください。)
 - 吸引圧力が強かったり、足りなかったりする場合は、強弱ツマミをゆっくり回し、真空計を見ながら徐々に吸引圧力を加減してください。
- 3 吸引ボトル内に吸引物が一杯になるとフロートが作動し、患者への吸引を止めます。
 - 吸引物はフロートが作動する前に捨てるようにしてください。



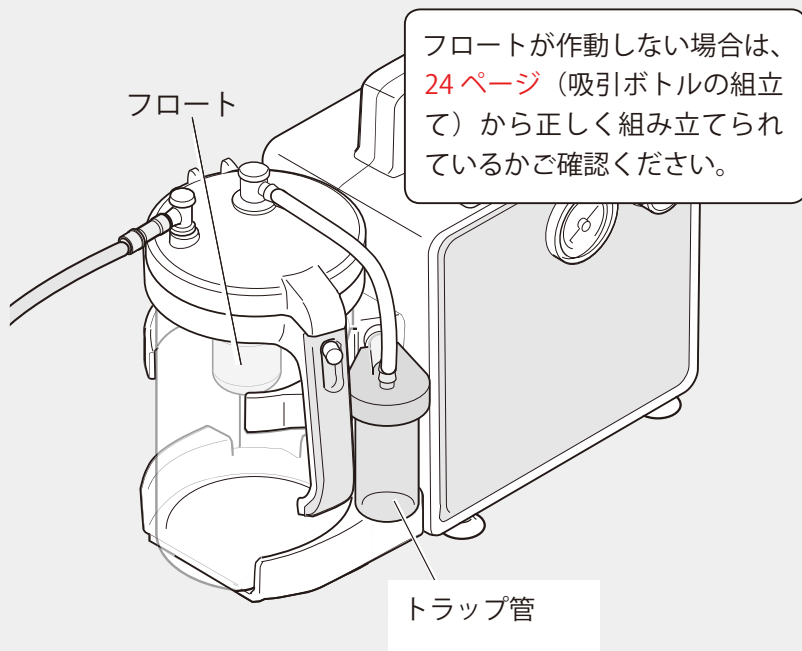
注意

患者への吸引が止まっても本体は作動し続けています。運転スイッチを「切」にして吸引ボトルに溜まった吸引物を廃棄してから、再度吸引を行ってください。



吸引ボトル内のフロートについて

吸引ボトル内の吸引物が一定量まで溜まるとフロートが吸引物と共に上昇して吸引経路を塞ぎ、ボトル内に溜まった吸引物がポンプ内部に浸入することを防ぎます。



- 4** 万一ボトルの中の吸引物をポンプ側に吸い込んでも、トラップ管に溜まるようになっています。トラップ管には吸引物を溜めないように注意してください。（トラップ管には消毒剤などを入れず、常に空の状態で使用してください。）



注意

吸引器は、配管内やポンプにミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用頻度によって吸引圧力や吸引流量に影響が出てきます。

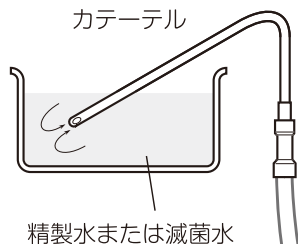
必ず製造販売元または医療機器修理業者による定期点検をお受けください。（有料）

3. 使用後の取扱い

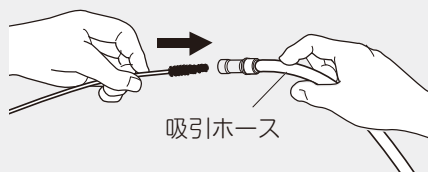
1

吸引が終了したあとは、精製水（滅菌水）などを吸引し、ホースやカテーテルの目詰まりを防ぐために洗浄を行ってください。

- ぬるま湯（40℃程度）を吸引すると、より汚れが落ちやすくなります。



吸引ホース専用洗浄ブラシを用いるとホース内部を清掃することが出来ます。目詰まり・カビ予防に有効です。



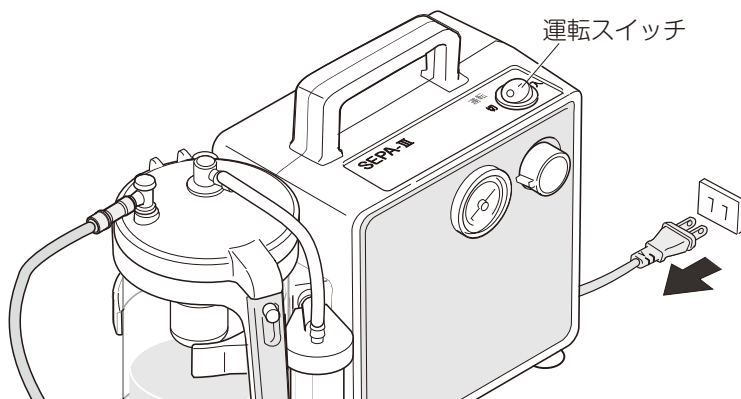
吸引ホース専用洗浄ブラシを用いた洗浄方法

50 ページ

2

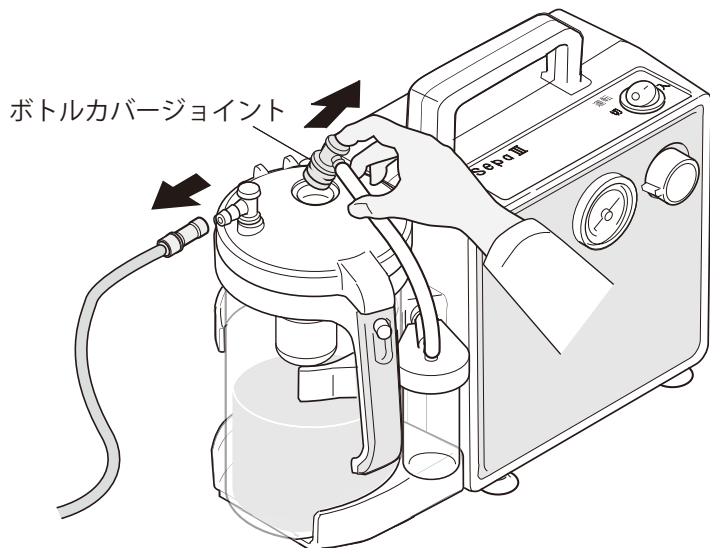
運転スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

注：必ず根元のプラグ部分を持って抜いてください。



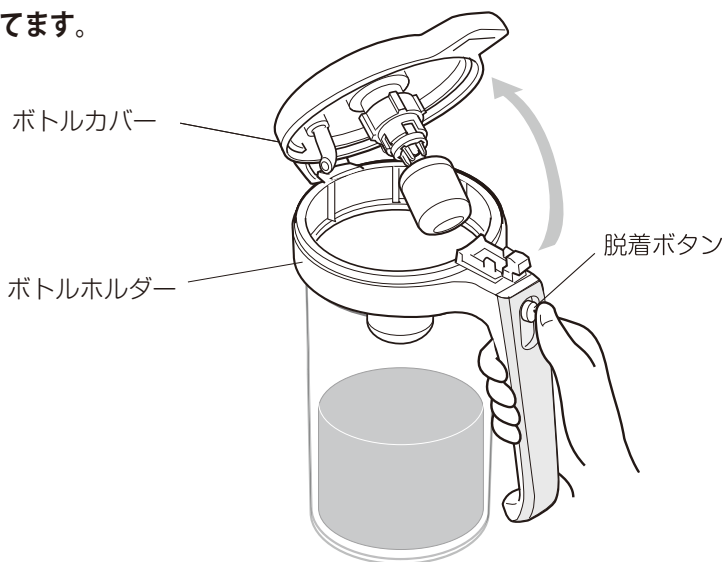
3 吸引ホース口から吸引ホースを取り外します。

4 吸引ボトル上部についているボトルカバージョイントを取り外し、本体から吸引ボトルを取り出します。



吸引をする

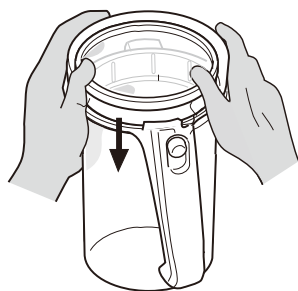
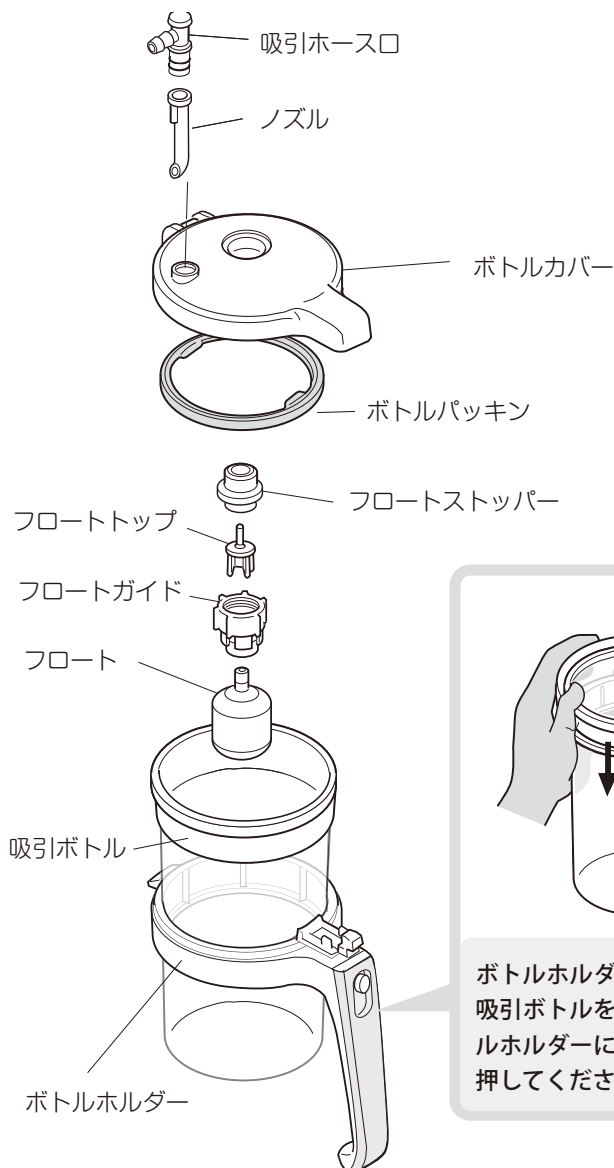
5 ボトルホルダーの脱着ボタンを押し、ボトルカバーをはずして吸引物を捨てます。



6 各部品を次項のように取り外して洗浄します。

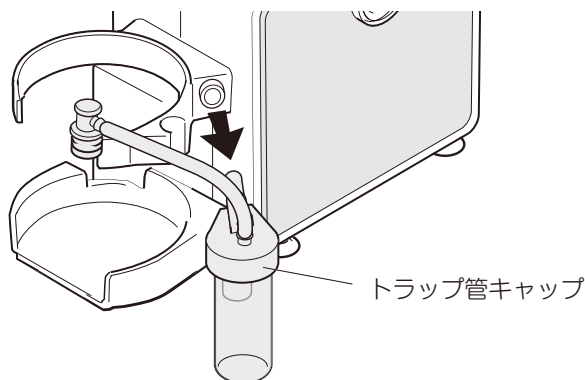
- 部品を失くさないように注意して清潔な水で洗ってください。

吸引ボトルセットの分解図

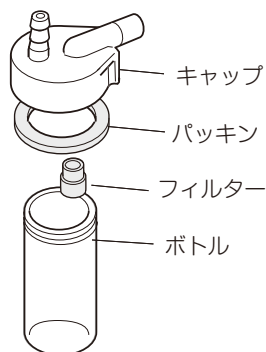


ボトルホルダーを取外す際は、吸引ボトルを固定しながらボトルホルダーに手を添えて、下に押してください。

- 7** トラップ管はトラップ管キャップを手前に引くことで本体から取り外すことができます。



トラップ管の分解図



トラップ管のフィルターについて

フィルターはポンプ内へミスト状の吸引物や消毒剤の浸入を減少させるためのものです。吸引が弱くなり、目詰まり感が出ましたら、早めに予備のフィルターと交換してください。

注：予備のフィルターが無く、緊急を要する場合にはフィルター無しで使用してください。その後の使用のために必ず予備のフィルターを販売店でお買い求めください。

⚠ 注意 フィルターは滅菌・消毒しての再使用は出来ません。新しいフィルターと交換してください。

- 8** 汚れがきれいに落ちていることを確認し、滅菌または消毒をしてください。 (20 ページ参照)

4. 在宅での使用後の取扱い

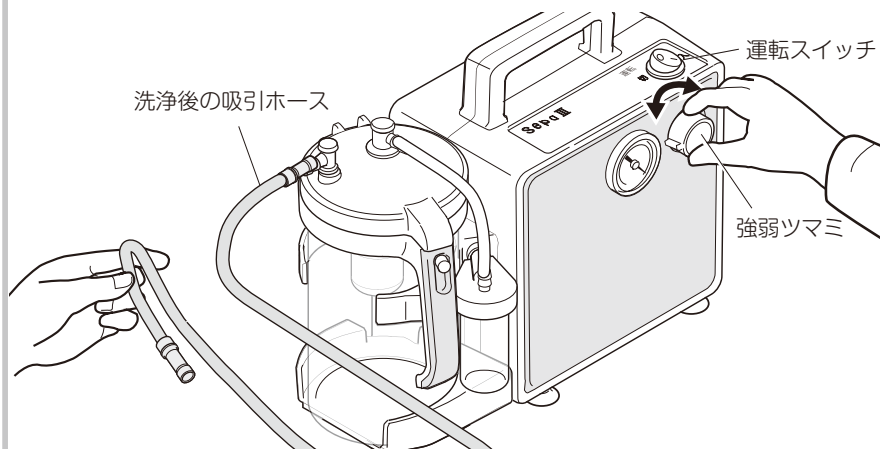
下記の部品は、洗浄・消毒が不十分だとカビ（黒またはピンク）が発生する可能性があります。ご使用後の洗浄・乾燥を十分に行ってください。消毒は必要に応じて行ってください。

- 吸引ホース
- 吸引ボトルセット
- 吸引ホース口

吸引器を用いた吸引ホース内部の乾燥方法

洗浄して各部品を組み立てた後、以下の手順で吸引ホースを乾燥することができます。（吸引ボトルセットの組み立て方法： [24 ページ](#)参照）

- ① 10 ページに従って AC 電源コードを接続してください。
- ② 吸引ホース口に、洗浄後の吸引ホースを接続します。
- ③ 本体の運転スイッチを「入」にします。
- ④ 強弱ツマミを「強」いっぱいまで回し、吸引ホースの先端を折り曲げ閉塞します。
- ⑤ 真空計を確認し、吸引圧力が -80kPa 程度になったら、吸引ホースから手を離し開放します。開放すると勢いよく空気が流れ、ホース内部の水が吸引されます。
- ⑥ ④～⑤の手順を、4. 5 回繰り返します。
- ⑦ 吸引ホース内部が乾燥したら、運転スイッチを「切」にします。
- ⑧ 吸引された吸引ボトル内の水を、乾いた布等で拭き取ります。



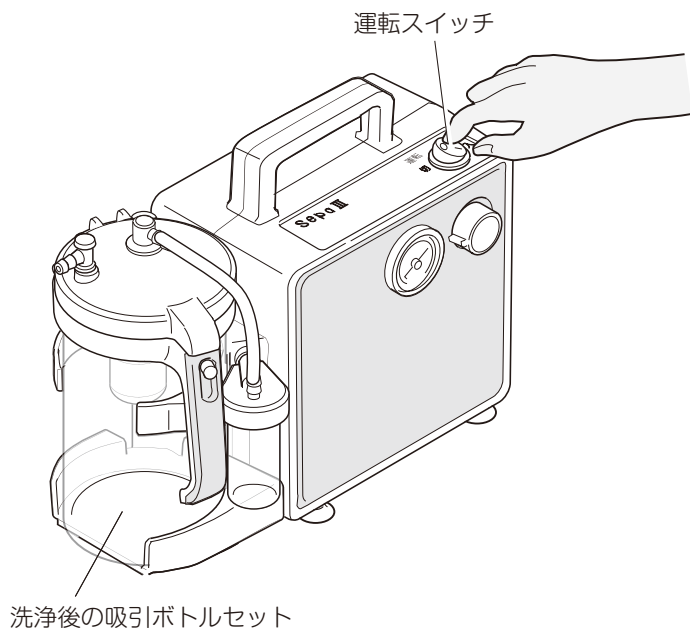


注意

前記の乾燥方法は、必ず吸引ボトル内を空にしてから行ってください。吸引の勢いで吸引ボトル内の内容物が飛散し、本体内部に浸入するおそれがあります。

吸引ボトル内の各部品を早く乾燥させる方法

洗浄後、乾いた布等で各部品の水分を拭き取ってください。
組み立てて本体に接続した後、運転スイッチを「入」にして作動し、吸引ボトル内を乾燥させてください。
(自然乾燥よりも早く乾燥し、カビ発生の防止になります。)



5. 滅菌・消毒について

病院等の施設での滅菌・消毒方法

消毒剤による浸漬消毒またはEOG(エチレンオキサイドガス)滅菌をおすすめします。

- EOG(エチレンオキサイドガス)滅菌

50℃以下で行い、滅菌後十分にエアレーションを行うなど、残ガスには十分にご注意ください。

- 消毒剤による浸漬消毒

吸引ボトルセットの各部品は、各材質に合った消毒剤を用いて浸漬消毒を行ってください。

グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテン液など)や逆性石けん類(オスバン液など)などの、樹脂にやさしい消毒剤のご使用をお勧めします。



高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)はできません。

各部品の耐熱温度(100℃以下)を超えるため。

在宅での消毒方法

消毒剤による浸漬消毒をおすすめします。

吸引ボトルセットの各部品は、各材質に合った消毒剤を用いて浸漬消毒を行ってください。

(消毒剤の添付文書に記載されている、濃度を守ってください。)

滅菌・消毒 ○× 一覧表



22 ページ

注意

消毒剤使用上の注意

- 必ず消毒剤の添付文書をよく読み、記載されている注意事項や使用濃度を守ってください。(部品劣化の原因となります)
- 汚れ、付着物等をよく落としてから消毒をしてください。
(汚れ、付着物がついたままでは消毒効果が下がります。)
- 消毒後はすすぎ洗いし、良く乾燥させてから保管してください。
- 消毒剤は他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。
(消毒剤の効果が損なわれたり、人体に影響を及ぼす危険な成分が生じることがあります。)

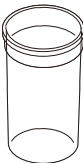



消毒剤選定の注意

- 次亜塩素酸ナトリウム系、ポビドンヨード系の消毒剤は金属部が腐食する場合があるので避けてください。
- クレゾール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れ等が生じる可能性がありますので避けてください。
- 強酸性水は金属部を腐食させますので、ご使用にならないでください。

吸引をする

参考資料 (滅菌・消毒 ○× 一覧表)





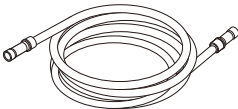
○：使用可能 △：使用可能（外観または感触に変化あり） ×：使用不可

消毒剤の種類 (代表的な商品名)	形状				
	品名	吸引ボトル	ボトルカバー	ボトルホルダー	ボトルパッキン
	材質	PC	PC / ABS	PC / ABS	シリコン
グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテン液)		○	○	○	○
逆性石鹼類 (オスバン液)		○	○	○	○
フタラール (ディスオーパ)		○	○	○	○
アルコール (消毒剤エタノール)		○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン)		○	○	× ※金属腐食	○
両性界面活性剤 (エルエイジー)		× ヒビ	○	○	○
フェノール類 (クレゾール石鹼液)		×	×	×	×
ポビドンヨード (イソジン)		×	×	×	×
煮沸消毒 (ウオッシャー・ディスインフェクター含む)		○	×	×	×
高圧蒸気滅菌		×	×	×	×
EOG (エチレンオキシドガス) 滅菌		○	○	○	○

※ボトルホルダー内にステンレス部品が含まれているため、金属腐食が発生します。

●フェノール、ポビドンヨードはヒビ、溶解、着色の恐れがあります。

●煮沸消毒、高圧蒸気滅菌は変形の恐れがあります。

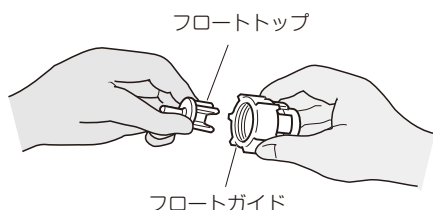
				
フロート ストッパー	フロートトップ フロートガイド フロート	ノズル	吸引ホース口 (Oリング)	吸引ホース (アダプター付)
シリコン	P P	PC / ABS	P P (シリコン)	塩化ビニル
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	×
○	○	○	○	△
○	○	○	○	△
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
○	○	○	○	○

6. 消毒後について

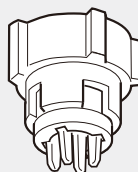
消毒後はよくすすいで、乾燥させます。吸引ボトルは次項のように組み立てます。

吸引ボトルセットの組立て

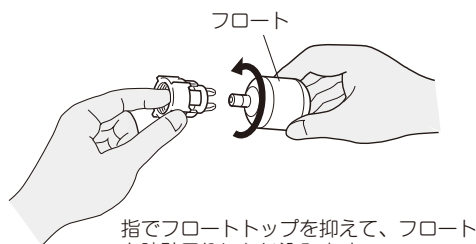
- 1 フロートガイドにフロートトップを取付けてください。



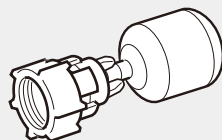
フロートトップの爪が出るまで押しこみます。



- 2 フロートトップ・フロートを組立てます。

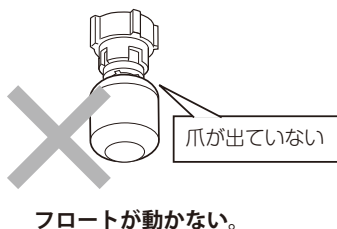
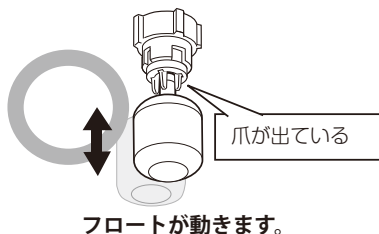


指でフロートトップを抑えて、フロートを時計回りにねじ込みます。



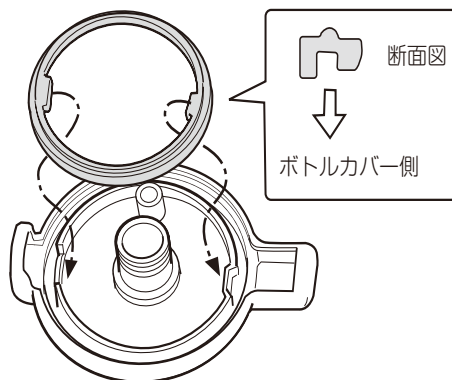
フロートの組立ての完了です。

フロートガイドからフロートトップの爪が出ないままフロートを取付けると、フロートが吸引停止状態で固定され、吸引できなくなります。

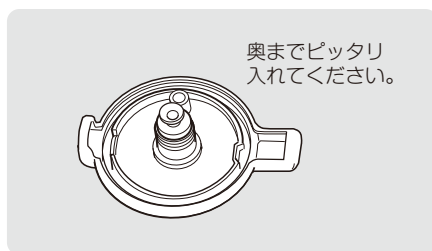
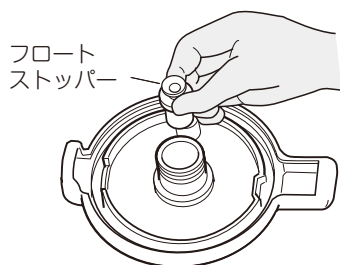


3 ボトルカバーにボトルパッキンを取付けます。

ボトルパッキンの突起部分とボトルカバーの切り欠け部を一致させてください。(逆付け防止のため)

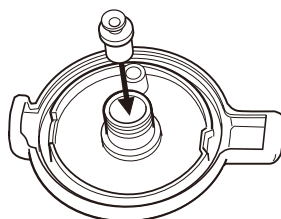


4 ボトルカバーにフロートストッパーを取付けます。



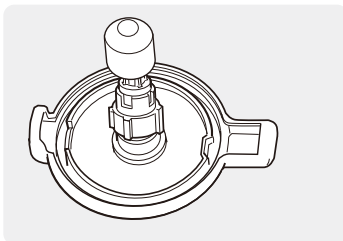
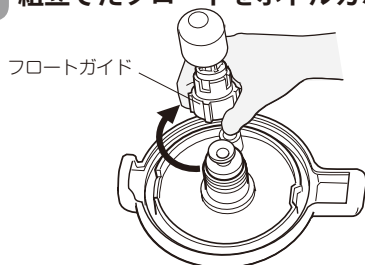
取付ける向きに注意！

フロートストッパー



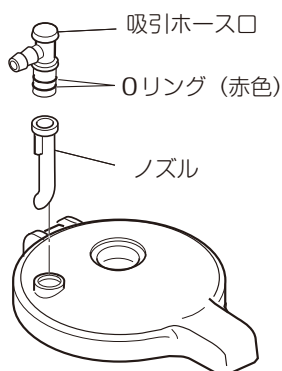
吸引|をする

5 組立てたフロートをボトルカバーに取付けます。



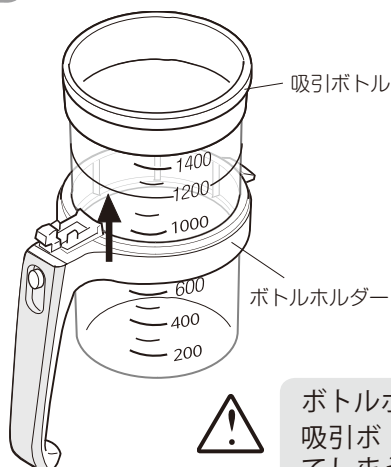
6 吸引ホース口とノズルを取付けます。

注：吸引ホース口にOリング（赤色：2個）がついていることを確認してください。（Oリングがない状態で使用すると正しく吸引できない可能性があります）



消毒後の処置

7 吸引ボトルカバーにボトルホルダーを取付けます。

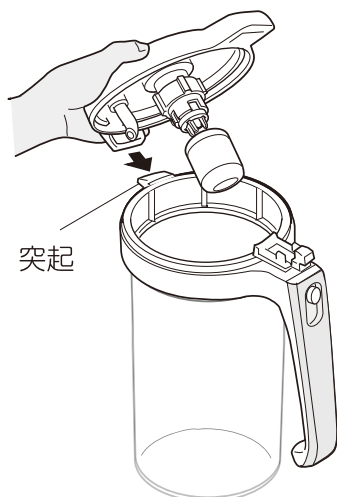


ボトルホルダーを上までしっかり入れます。吸引ボトルの途中でボトルホルダーを止めてしまうと、ボトルカバーが閉まらないことがあります。

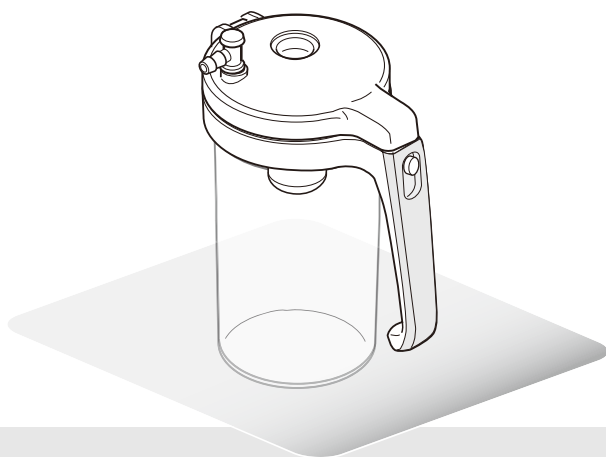
8

ボトルカバーを取付けます。

- ① ボトルカバーとボトルホルダーの突起部を合わせます。
- ② 合わせた部分をおさえてボトルカバーを取付けます。



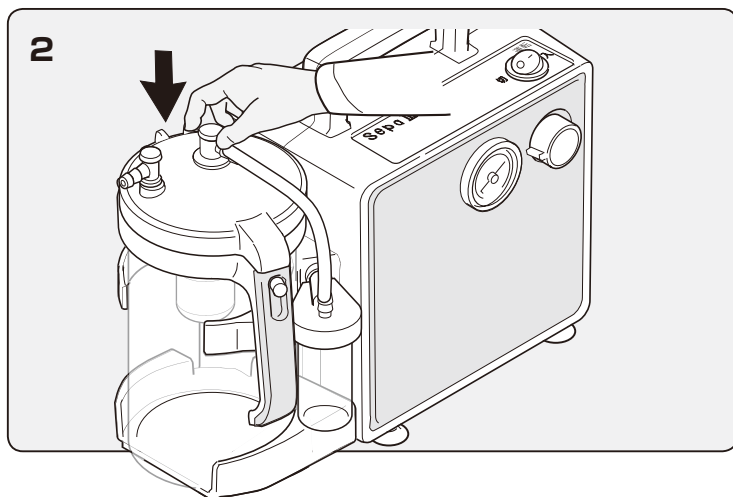
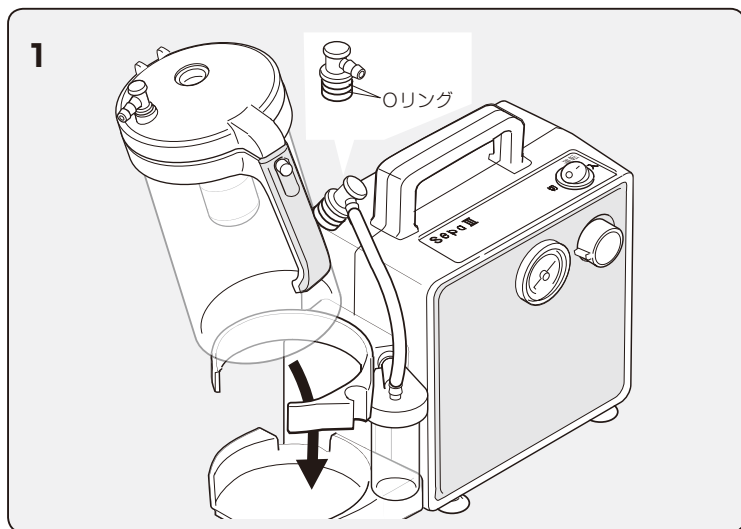
以上でボトルセットの組立ては完了です。

**⚠ 注意**

部品の付け忘れに注意してください。不足部品があると、フロートが正常に作動せず、本体内部に吸引物が浸入するおそれがあります。

本体との接続

1. 吸引ボトルホルダーに吸引ボトルセットを取付けます。
2. ボトルカバー上部にボトルカバージョイントを取付けます。
注：Oリング（赤色：2個）がついていることを確認してください。
（Oリングがない状態で使用すると、正しく吸引できない可能性があります。）



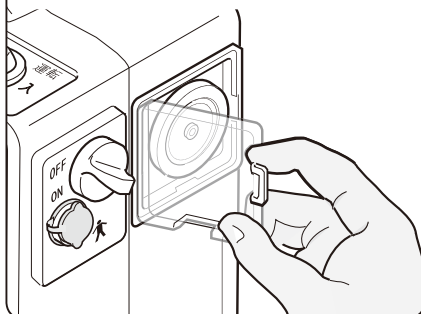
吸入をする

1. 準備

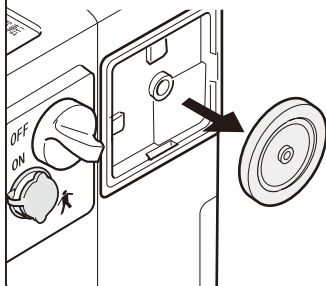
1 ネブライザーキットホルダーを取付けます。

- 本体側面のエアフィルターを外し、ネブライザーキットホルダーをセットします。

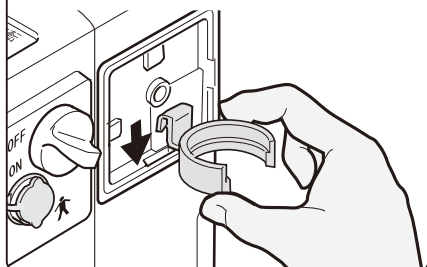
① カバーを外します。



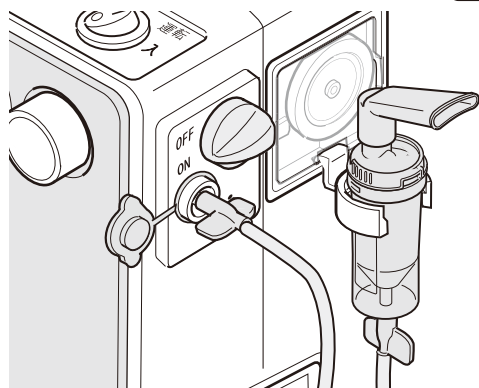
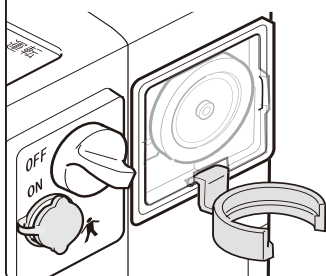
② エアフィルターを外します。



③ ネブライザーキットホルダーを溝に差し込みます。



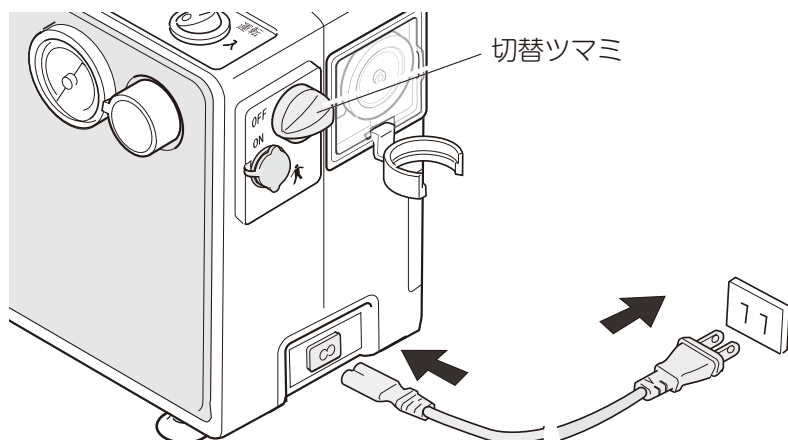
④ エアフィルターとカバーを元に戻します。



ネブライザーのご使用を一時中止する場合は、左図のように付属のネブライザーキットホルダーをご使用ください。

吸入をする

- 2 本器を水平な安定した場所に置いてください。
- 3 切替ツマミが「ON」になっていることを確認してください。
 - 切替ツマミはカチッと音がするまで回してください。
- 4 付属の AC 電源コードのプラグを本体側面の電源インレットに差し込み、反対側の電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 5 ネブライザーキットの各部品が装着されていることを確認してください。薬液の種類または用途によって吸気弁を装着してください。吸気弁の有無によって、噴霧量や噴霧粒子径が変化します。(58 ページ参照)

また、薬液瓶のノズル開口部やノズルキャップの開口部に目詰まりやヒビ割れがないか確認してください。



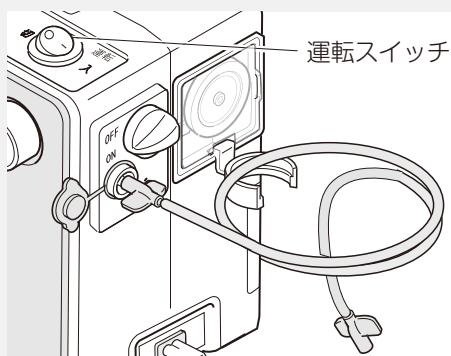
6

ネブライザーホースによじれや折れがないか、またホースの中に水分や異物が残っていないか確認してください。

- 残っている場合は、次項の手順で除去を行ってください。なお、異物の場合は必要に応じて洗浄・消毒を行ったあと、次項の手順を実施してください。

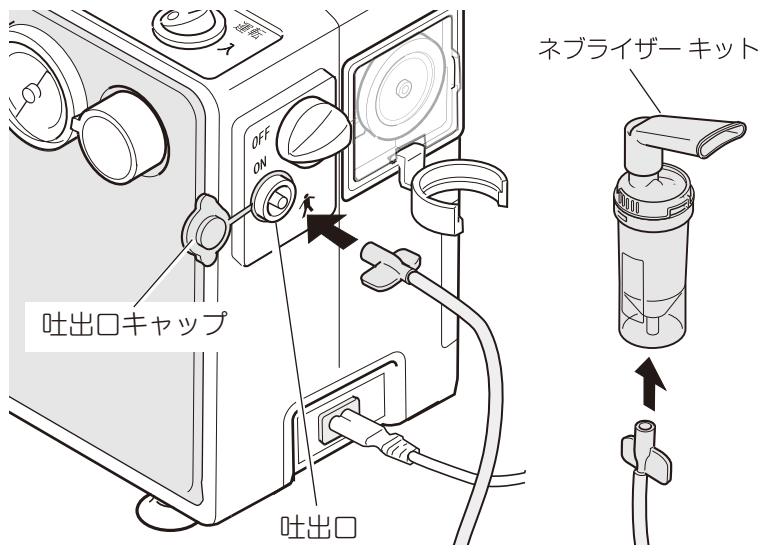
ネブライザーホース内の水分等の除去方法

- ① 吐出口にネブライザーホースを接続します。(ネブライザーキットは接続しません)
- ② 運転スイッチを「入」にし、作動させます。
- ③ しばらく空気を流し続け、ホース内の水分や異物が除去されたら電源スイッチを「切」にします。



7

本体の吐出口キャップを外し、吐出口に付属のネブライザーホースを接続します。ホースの反対側をネブライザーキットに接続します。



8 ネブライザーキットの薬液瓶キャップを外し、医師の処方による薬液を適量注入して、再び薬液瓶キャップを取り付けてください。

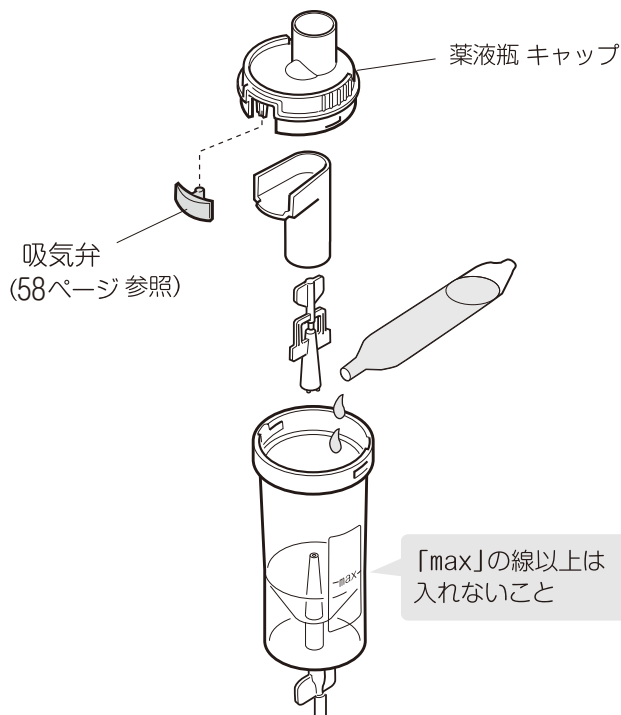
- 薬液の種類または用途によって、吸気弁を装着してご使用ください。

吸気弁について

装着することにより、呼気時にネブライザーキット後方からエアロゾルが拡散することを防ぎます。（薬液の無駄を抑えることができます）

吸気弁の有無によって、噴霧量や噴霧粒子径が変化します。

58 ページ「仕様」欄の「噴霧粒子径」をご参照ください。



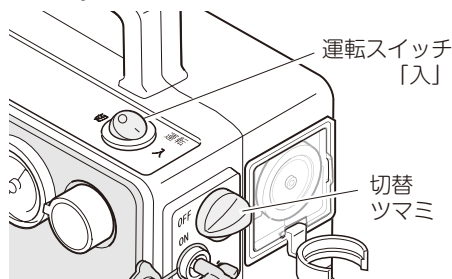
⚠ 注意

噴霧量・薬液・吸入時間等は医師の指導に従ってください。

2. 吸入する

- 1 切替ツマミが「ON」になっていることを確認してから、運転スイッチを「入」にします。本器が作動し、マウスピースから薬液が噴霧されることを確認してください。

- 噴霧状態が悪い場合は、ノズルの目詰まりや、ネブライザーホースのよじれや折れがないか等を確認してください。
(34 ページ参照)

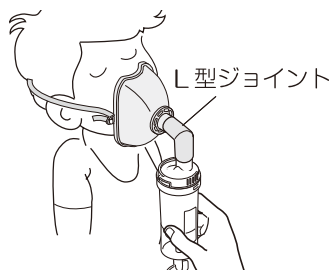


- 2 マウスピースを口にくわえてください。次に、口から大きく吸って、鼻から吐き出すように吸入を行ってください。



吸入をする

付属のマスク（小）による吸入



ノーズピース（オプション品）による吸入



！ 注意

使用中、ネブライザーホースが白く曇ってくることがありますが、機器の性能上、空気中の水蒸気が結露したものですので、機器の異常ではありません。結露が水滴となってホース内部をネブライザーキット側に移動してくるような場合は、31 ページの「ホース中の水分等の除去方法」の手順に従って、水分を除去してから使用してください。

吸入をする

ノズル開口部が薬液の結晶で目詰まりして噴霧しない場合

本体は正常に動作し空気は出ているのに噴霧しない場合は、薬液瓶のノズル開口部やノズルキャップが汚れていないか、確認してください。

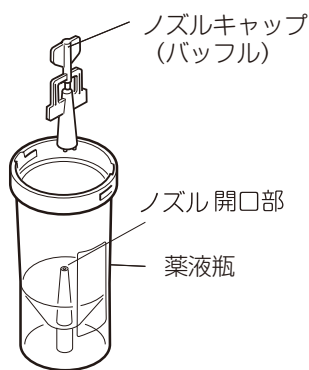
洗浄が不十分ですと、薬液が結晶化してノズル開口部に付着し、目詰まりを起こし正常に噴霧できなくなることがあります。

ノズル開口部やノズルキャップが汚れている場合は、部品を傷つけないように注意しながら、丁寧に洗浄して結晶などを取り除いてください。

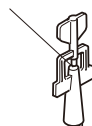
熱いお湯に数分間程浸すと、汚れが落ちやすくなります。

注：ノズル開口部を広げてしまうと正常に噴霧しない場合があります。汚れが落ちない場合や洗浄中にノズルやノズルキャップを傷つけてしまった場合は、新しいネブライザーキットをお買い求めください。

洗浄方法は「使用後の取扱い」を参照してください。



ノズルキャップの開口部
(霧が吹出すところ)



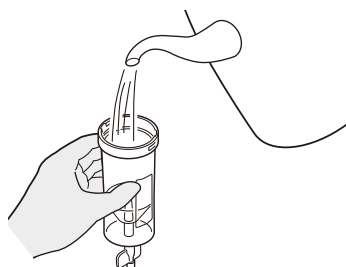
3. 使用後の取扱い

1

薬液瓶キャップを外して、薬液が残っている場合は廃棄して薬液瓶をすすぎ洗いしてください。

2

薬液瓶にぬるま湯 (30 ~ 40℃) を入れ、薬液瓶キャップなどを薬液瓶に取付けます。



3

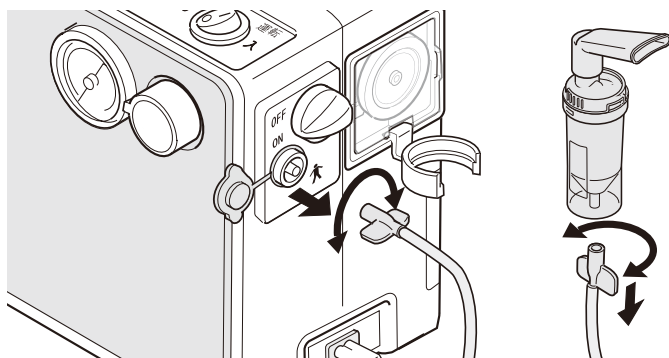
ぬるま湯を入れたネブライザーキットをネブライザーホースに接続し、ホースの反対側を本器の吐出口に接続します。

(31 ページ参照)

- 運転スイッチを「入」にして1～2分間噴霧させてノズルの目詰まりを防ぎます。 注：噴霧させたぬるま湯は吸入しないこと。

4

運転スイッチを「切」にして、コンセントからプラグを抜いてください。ネブライザーホースはホース口を回しながら外してください。上下左右に引っ張りますと、破損するおそれがありますので、必ず回しながら外してください。

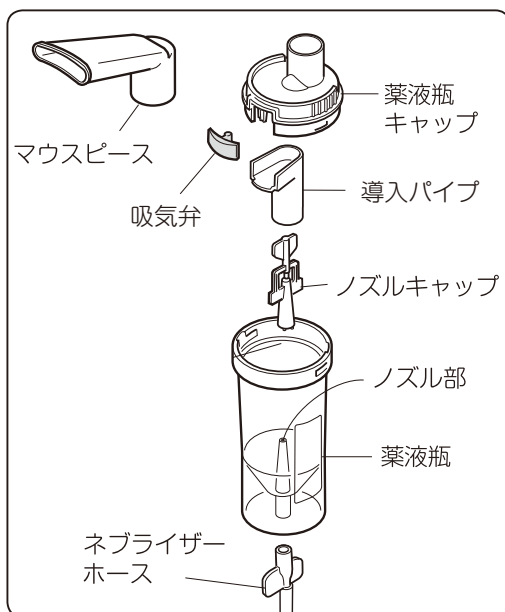


5

ネブライザーキットとマウスピースは右図のように分解して水洗いによる洗浄をしてください。

洗浄後、必要に応じて滅菌又は消毒をしてください。

- 小さな部品類の紛失にご注意ください。



吸入をする


4. 滅菌・消毒について

1. 病院での滅菌・消毒方法

病院でご使用の場合は、ネブライザーキット、ネブライザーホース等を高圧蒸気滅菌または消毒剤による浸漬消毒をおすすめします。


高圧蒸気滅菌を行う場合

121℃以下の設定で滅菌してください。（耐久回数：30 回まで）

-  **注意**
- エチレンオキシドの残留ガスは短期間で完全に消去できません。エチレンオキシドガス滅菌はしないでください。
 - 121℃を超える設定での高圧蒸気滅菌は避けてください。
滅菌器の機種によって、乾燥時に 121℃を超えてしまうものがあります。滅菌器のメーカーに確認してください。

消毒剤による消毒の場合

消毒剤による 浸漬消毒は、消毒剤の用法・用量に従ってください。
また、[38 ページ](#)の「参考資料」をご活用ください。

-  **注意** **消毒剤使用上の注意点**
1. 汚れ、付着物等をよく落としてから、消毒をしてください。（汚れ、付着物がついたままでは、消毒効果が低くなります。）
 2. 消毒剤は、他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。
（消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じることがあります。）
 3. 消毒剤の添付文書に記載されている濃度を守ってください。（器具類の劣化を生じることがあります）
 4. 消毒剤に直接接触したり、気化したガスを吸わないように注意してください。（手荒れを起こしたり、有毒なガスを吸い込んだりする場合があります。）
 5. 消毒後は滅菌水などですすぎ洗いし、良く乾燥させてから保管してください。

2. 在宅での消毒方法

煮沸法による消毒をおすすめいたします。（耐久回数：50 回まで）
各部品を沸騰したお湯（100℃）の中に入れ、15 分以上煮沸してください。
消毒剤による消毒が必要な場合は、医療従事者の判断のもと、**36 ページ**
「消毒剤による消毒の場合」および **38 ページ**「参考資料」をご参照く
ださい。

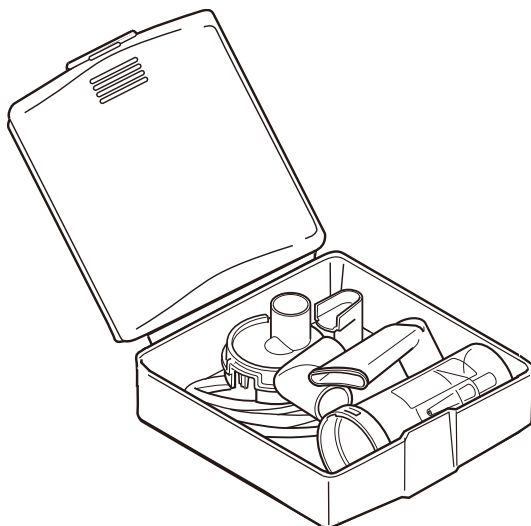


- 注 意**
- 熱湯による消毒の際は、やけどに十分ご注意ください。
 - 空焚きにご注意ください。

3. ネブライザーキットの保管

ネブライザーキット、ネブライザーホース等は洗浄、消毒（滅菌）後速やかに乾燥させ、元の通りに組み立ててください。組み立てたネブライザーキットは、収納ケースに保管しておいてください。

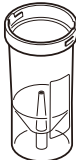


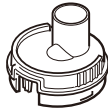
（収納ケースもあらかじめ洗浄・乾燥しておいてください）



吸入をする

参考資料 (滅菌・消毒 ○× 一覧表)

○：使用可能 △：使用可能（外観または感触に変化あり） ×：使用不可

消毒剤の種類 (代表的な商品名)	形状				
	品名	薬液瓶	ノズルキャップ	導入パイプ	薬液瓶キャップ
	材質	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン
グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテン液)		○	○	○	○
逆性石鹼類 (オスバン液)		○	○	○	○
フタラール (ディスオーパ)		○	○	○	○
アルコール (消毒剤アルコール)		○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン)		○	○	○	○
両性界面活性剤 (エルエイジー)		○	○	○	○
フェノール類 (クレゾール石鹼液)		×	×	×	×
ポビドンヨード (イソジン)		△ 着色	△ 着色	△ 着色	△ 着色
過酢酸 (アセサイド)		○	○	○	○
煮沸消毒 (ウオッシャー・ディスインフェクター含む)		○ 50 回	○ 50 回	○ 50 回	○ 50 回
高圧蒸気滅菌		○ 30 回	○ 30 回	○ 30 回	○ 30 回

※：長時間の浸漬により、収縮する場合があります。

●フェノールは着色、刺激臭の恐れがあります。

				
吸気弁	マウスピース	マスク (小)	L型ジョイント	ネブライザーホース
シリコンゴム	ポリプロピレン	エラストマー	ポリプロピレン	ポリプロピレン シリコンゴム
○	○	○	○	○
○	○	○	○	△ 若干硬化
○	○	○	○	○
○	○	△ ※若干収縮	○	△ 白濁
○	○	○	○	○
△ 着色	○	○	○	△ 若干硬化
×	×	×	×	×
△ 着色	△ 着色	△ 着色	△ 着色	△ 着色
○	○	△ 着色	○	○
○ 50 回	○ 50 回	○ 50 回	○ 50 回	○ 50 回
○ 30 回	○ 30 回	○ 30 回	○ 30 回	○ 30 回

●エチレンオキサイドガス滅菌は残留ガスが短期間で完全に除去できませんので、使用しないでください。

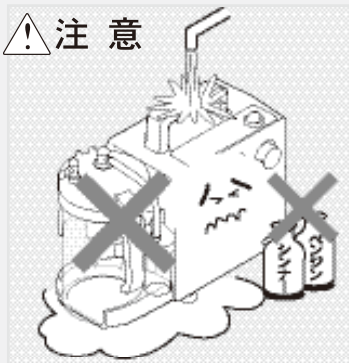
使用後の処置について

本体の清掃

本体外装部は水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。

- 水洗いは絶対にしないでください。
- ベンジン、シンナー、研磨剤入り洗剤（クレンザーなど）、中性洗剤以外をご使用になりますと、樹脂にヒビ割れ等が生じる可能性があります。
- フェノール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れが生じる可能性がありますので、避けてください。

⚠ 注意



排気フィルターの清掃

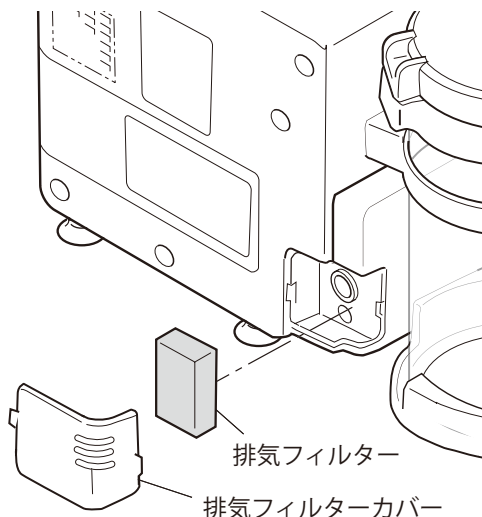
本体背面の排気フィルターカバーを外すと排気フィルター（スポンジ製）が取り出せます。排気フィルターは定期的に（1ヶ月に1回程度）中性洗剤で洗浄するか、古くなった場合などは交換します。

● 洗浄方法

中性洗剤を少し加えたぬるま湯（40℃以下）で洗い、よく乾燥してから元のように取り付けてください。

● 排気フィルターの交換

スポンジの排気フィルターには吸引時のミストや消毒剤等のミストによる汚れが付着します。洗浄しても汚れが落ちないようでしたら、交換してください。





注意

排気フィルター（または排気口）に水が溜まる場合があります。吸引するときに吸い込んだ空気中の水分が結露したもので、異常な現象ではありません。

特に下記条件では結露しやすくなります。

- 湿度が高い（梅雨の時期、雨の日）、寒い室内で吸引する。
- 室内で加湿器を使用する。

エアフィルターの交換

本体側面のカバーを外し、内部のエアフィルターを取り外します。

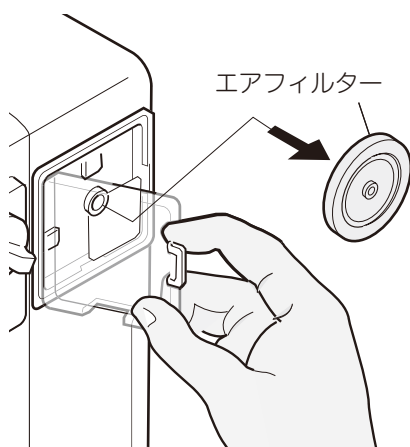
● 交換の目安

噴霧しにくく目詰まり感がある場合、エアフィルターが黒色に変色している場合、約 100 時間使用している場合が交換の目安になります。

● 本器の使用環境での影響

タバコの煙等で汚れた室内での使用環境では、すぐに目詰まりを生じるおそれがあります。患者さんのためにも、煙のない環境でご使用ください。エアフィルターは再使用できませんので新しいエアフィルターと交換してください。

注：エアフィルターは衛生面で標準装備していますが、突然の目詰まりの時に予備のフィルターが手元にない場合は、フィルターを外してご使用ください。（緊急時の対処のみ）



使用後の処置について

本体の保管

- 気圧、湿度、温度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれの無い場所に保管してください。
- 水のかからない場所に保管してください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

保守・点検について

1. 日常点検

本器をご使用中に運転不良が起きないように、以下の点検を使用前に行ってください。

- 吸引ボトルセット、ネブライザーキット、ネブライザーホースの外観に異常がないか確認してください。（キズ、ヒビ割れ、変形、変色、汚れなど）
- トラップ管にキズ・ヒビ割れがないか確認してください。
- 薬液瓶のノズル穴、およびノズルキャップ開口部に目詰まりがないか確認してください。
- ネブライザーホースによじれや折れがないか、またホースの中に異物がないか確認してください。
- AC 電源コードのプラグに変形がないこと、被覆が破けていないことを確認してください。
- 排気フィルターが汚れていないことを確認してください。
- エアフィルターが汚れていないことを確認してください。
- 運転スイッチの入 / 切を行い、正常に動作することを確認してください。
- 切替ツマミが「OFF」の状態 で運転スイッチを「入」にして本体を作動させます。指で吸引ホースを折り曲げ、強弱ツマミを回し真空計の指針がスムーズに変動することを確認します。切替ツマミを「ON」にした時に、吐出口から勢いよく空気が出ていることを確認します。

- の項目に異常が見られた場合は…新しい部品に交換してください。
- の項目に異常が見られた場合は…本体内部の異常が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。

2. 定期点検

突然の事故を未然に防止し、安全にお使いいただくため、弊社では2年に一度の製造販売元または医療機器修理業者による、定期点検の実施をお願いしております。

吸引器は、長時間の使用中にミスト状の吸引物等がポンプ内および配管に浸入します。そのため、吸引能力が次第に初期値に比べて低下しますので、必ず定期点検を受けてください。(定期点検は有料となります。)

定期点検内容

- ゴム製部品等の消耗部品の交換
- 機能・性能点検

機能・性能に異常がある場合

- 本体内部の調整
- 必要に応じて劣化部品の交換

3. 保守点検（ユーザー点検）チェックリスト

保守点検（ユーザー点検）は使用者が行う点検です。3 ヶ月に 1 度は以下の点検を実施して下さい。

目視点検

点検項目			判定結果
外観 確認	AC 電源コード	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	運転スイッチ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	真空計	破損、亀裂、緩み、汚れ等がないこと	合・否
	強弱ツマミ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	切替ツマミ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	エアフィルター	破損、変色がないこと	合・否
	吸引ホース	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
吸引 ボトル	吸引ボトル	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ボトルカバー	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ボトルホルダー	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	吸引ホース口	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ノズル	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ボトルパッキン	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	フロート	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
ネブライザー キット	薬液瓶	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	薬液瓶キャップ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	マウスピース	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	吸気弁	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	L 型ジョイント	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	マスク（小）	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ネブライザーキット ホース	破損、亀裂、汚れ等がないこと	合・否
トラップ 管	キャップ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	フィルター	破損、変形等がないこと	合・否
	ボトル	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否

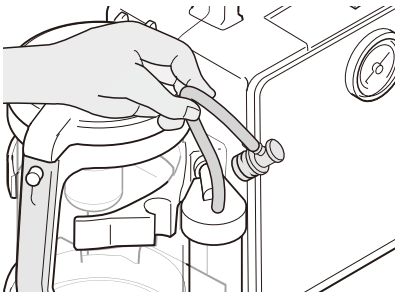
機能点検

点 検 項 目	判定結果
真空計の指針が停止状態で「0」を差すこと	合 ・ 否
強弱ツマミを「強」方向に回したときに吸引圧力が高くなること	合 ・ 否
強弱ツマミを「弱」方向に回したときに吸引圧力が低くなること	合 ・ 否
真空計の指針がスムーズに動くこと	合 ・ 否
切替ツマミを「ON」にして吸入になること	合 ・ 否
ネブライザーが正常に噴霧すること	合 ・ 否
異音の発生や強弱ツマミ等に緩みが無いこと	合 ・ 否

機能点検で「否」の項目があった場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者に点検・修理を依頼してください。

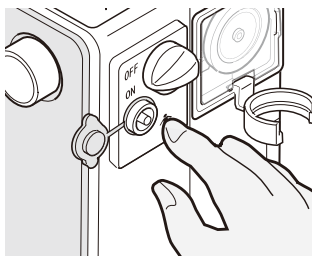
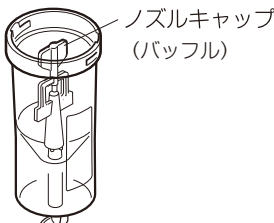
故障かな？と思われたら

故障かな？と思われた場合、修理を依頼される前にこの処置を行ってみてください。正常に作動する場合があります。各処置を行っても正常に作動しない場合は分解などはせず、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	対 策
運転スイッチを入 / 切しても作動しない、または時々止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● AC 電源コードの差し込みが不十分。 ● 断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● AC 電源コードを本体電源インレットおよびプラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(10 ページ参照) ● 断線または断線の疑いがある場合は、販売店へご連絡ください。
	本体内部(モーター等)の異常が考えられる。	販売店へご連絡ください。
	吸引ボトル内に陰圧が残ったままになっている。	<p>吸引ボトル内に陰圧が残った状態(真空計の指針が「0」に戻っていない状態)では、ポンプの安全装置が働き、本器が作動しなくなることがあります。</p> <p>陰圧が残っている場合は、吸引ホース等を外し陰圧を開放し、真空計の指針が「0」に戻ったことを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。</p>
ポンプは作動しているが吸引しない、または吸引圧力が弱い	<p>① 本体内部に異常がある 《以下の方法で確認します》 吸引ボトル上部についているボトルカバージョイントを取り外し、ホースを折り曲げ閉塞します。本体を作動させ、強弱ツマミを「強」いっぱいに戻します。吸引圧力が、-70kPa 程度(※)まで上がれば本体は正常です。</p>	<p>吸引圧力が上がらない場合は、本体内部の異常が考えられます。販売店へご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体内部が正常であることが確認できたら、②以降に進んでください。 

症 状	原 因	対 策
ポンプは作動しているが吸引しない、または吸引圧力が弱い	※初期性能は -85kPa ですがご使用の期間・頻度によって性能が低下してきますので、-70kPa を目安に判断してください。	
	② 吸引ボトルセットの組み立てに不備または部品の欠品がある。	24 ページの《吸引ボトルセットの組立て》を参照し、吸引ボトルが正しく組み立ててあるか、部品の欠品がないか確認してください。
	③ 吸引ボトルセットの部品が劣化し、漏れが発生している。	各部品を確認し、亀裂やヒビ割れ等がないか確認してください。 亀裂やヒビ割れ等が見つかった場合は、新しい部品と交換してください。
	④ フロートがフロートストッパーにくっついて いる。 (吸引ボトル内に吸引物が溜まり、安全機能が働いている)	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸引物を捨ててください。 ● 本体から吸引ボトルセットを取り外し、ボトルカバーを外し、フロートとフロートストッパーを離してください。 フロート、フロートガイドに吸引物等の付着が見られる場合は、分解して洗浄・乾燥のうえ元通りに取り付けてください。 (24 ページ参照)
ポンプは作動しているが噴霧しない、または噴霧が弱い	切替ツマミが「ON」になっていない、または「ON」と「OFF」の間にある。	切替ツマミを「ON」にカチッと音がする位置まで動かしてください。

故障かな？と思ったら

症 状	原 因	対 策
ポンプは作動しているが噴霧しない、または噴霧が弱い	<p>① 吐出口から空気が出ているか確認してください。</p> 	<p>・ 空気の吐出が弱い場合 ポンプの不良、または本体内部の配管の緩みや劣化が考えられますので、販売店へ連絡してください。</p> <p>・ 空気の吐出が通常時と変化ない場合 本体内部が正常に作動していますので②以降に進んでください。</p>
	<p>② ノズル開口部、ノズルキャップ開口部が目詰まりしている。</p>	<p>34 ページの《ノズル開口部が薬液の結晶で目詰まりして噴霧しない場合》を参照し、目詰まりを解消してください。</p>
	<p>③ ノズルキャップがノズル部にセットされていない。</p>	<p>ノズルキャップをノズル部に奥まで差し込んでください。</p>  <p>ノズルキャップ (バッフル)</p>
	<p>④ ネブライザーホースによじれや折れ、またはホースの中に異物が残っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● よじれや折れがないか確認してください。 ● 異物がある場合は 31 ページ《ネブライザーホース内の水分等の除去方法》を参照してください。
	<p>⑤ ネブライザーキット、ネブライザーホースが劣化し、漏れが発生している。</p>	<p>各部品を確認し、亀裂やヒビ割れ等がないか確認してください。 亀裂やヒビ割れ等が見つかった場合は、新しい部品と交換してください。</p>
その他	販売店へご連絡ください。	

オプション・交換部品について

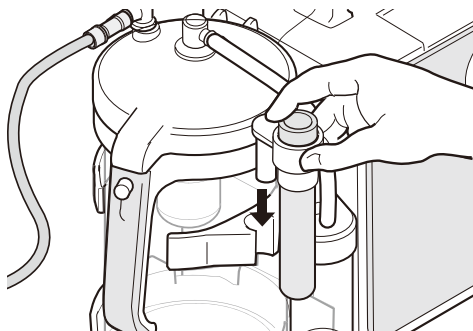
本製品にはオプション品および交換部品として、以下の製品を用意しております。本器をより効果的にご使用いただくために、ご利用ください。


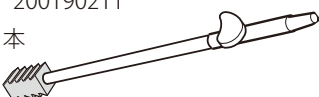


1. オプション品（吸引用）

品 名	用 途
吸引カテーテル MT 包装単位：各 20 本  <ul style="list-style-type: none"> ● 8FR（外径 2.67mm） / ライトブルー 商品コード：340790040 ● 10FR（外径 3.33mm） / 黒色 商品コード：340790001 ● 12FR（外径 4.0mm） / 白色 商品コード：340790002 ● 14FR（外径 4.67mm） / 緑色 商品コード：340790003 	吸引用カテーテルです。 アダプターはカラーコード化され、識別が容易です。
カテーテルホルダー（アダプタ付） 商品コード：200191857 包装単位：1 個 	吸引を一時中断する場合に、カテーテルを一時的に収納する際に使用するホルダーです。

カテーテルホルダーの取付方法

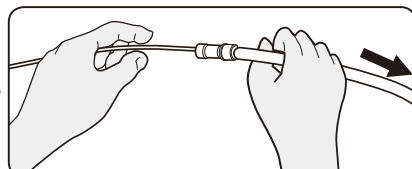
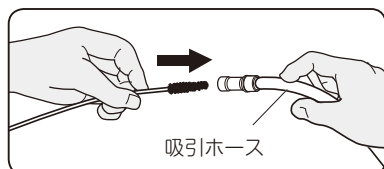
吸引ボトルホルダーのホース掛け部分にカテーテルホルダーのアダプタを差し込んでください。



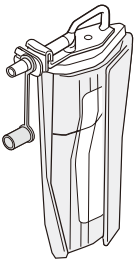
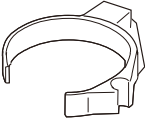
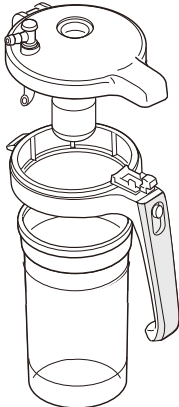
品 名	用 途
吸いとる歯ブラシ 商品コード：200190210 包装単位：3本 	吸引しながら歯磨きが可能です。 ブラシ部分が小さいので口腔内奥や狭いところまで届きます。歯ブラシは柔らかい毛を使用しています。(吸引カテーテルと歯ブラシが一体です)
吸いとるスポンジ 商品コード：200190211 包装単位：5本 	吸引ホースに接続して、口腔内の汚れを落としながら吸い上げます。枝の付いたハート型の穴で吸引のオン/オフが出来ます。
専用キャリーバッグ 商品コード グリーン：200191841 ブルー：200191842 パープル：200191843 包装単位：1個 	ショルダーベルト付きで持ち運びに便利です。
吸引ホース専用洗浄ブラシ 商品コード：200190250 包装単位：1本  全長 1200mm	吸引ホース(アダプター付)の内部を洗浄する時に使用します。 ホース内部の汚れを落とすことが出来ます。

吸引ホース専用洗浄ブラシを用いたホース内部の洗浄方法

1. 吸引ホースを水ですすぎます。
2. ホース内部にホース専用洗浄ブラシを差し込み、洗浄します。
3. 汚れを落としたら吸引ホースを流水ですすぎ、乾燥させてください。



※ 中性洗剤を使用するとブラシの動きがスムーズになります。
 また、ぬるま湯(40℃程度)で洗浄すると汚れが落ちやすくなります。

品 名	用 途
<p>吸引キャニスタ 商品コード：200191410 包装単位：1 個</p> <p>ミニックⅢディスポ用 接続ホース 商品コード：200191871 包装単位：1 本</p> 	<p>吸引ボトルの代わりにディスポザブル吸引バッグを使用して吸引するためのキットです。 ※必ず2点一緒にお買い求めください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 別途「SHIN-EI 吸引バッグ」をお買い上げください。
<p>SHIN-EI 吸引バッグ 商品コード SAKURA : 200190904 LEMON : 200190905 WAKABA : 200190906</p> <p>包装単位：50 個</p> 	<p>吸引キャニスタに取付ける単回使用の吸引バッグです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用方は、吸引バッグの添付文書をご参照ください。 ● 吸引バッグは単回使用です。再使用はできません。使用後は市町村の指導により廃棄してください。
<p>吸引ボトルホルダー（小） 商品コード：200191862 包装単位：1 個</p> 	<p>吸引ボトル 1L を使用する際に本体に取り付けます。</p>
<p>吸引ボトル 1L セット ボトルカバー 一式 1L 用 商品コード：200191850 包装単位：1 個</p> <p>ボトルホルダー 1L 用 商品コード：200191852 包装単位：1 個</p> <p>吸引ボトル 1L 商品コード：200191864 包装単位：1 個</p> 	<p>容量が 1L の吸引ボトルセットです。 ※ 1.4L 用と大きさが異なりますので、必ず3点一緒にお買い求めください。</p>

- お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

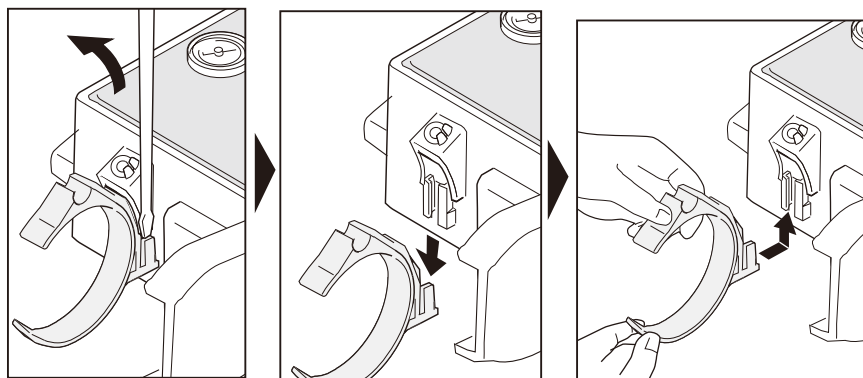
オプション・交換部品について

吸引ボトルホルダーについて

購入時についているボトルホルダー（大）に吸引ボトル 1L を取り付けると、吸引ボトルとボトルホルダーの間に隙間が出来てしまい、本器作動中に吸引ボトルが傾いたり、倒れたりする可能性があります。

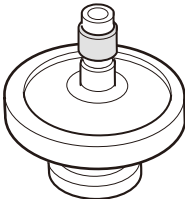
吸引ボトルホルダーの交換方法（大・小 共通です）

- ① 吸引器本体の正面を上にして寝かせます。
- ② 吸引ボトルホルダーの下部にあるツメ部分をマイナスドライバー等で引き上げながら、吸引ボトルホルダーを下にスライドさせて取り外します。
- ③ 交換する吸引ボトルホルダーを上スライドさせ「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込みます。



注意

工具を使用する際には、作業のしかた、周りの状況やケガなどに十分注意して使用してください

品 名	用 途
<p>PTFE 吸引フィルター</p> <p>商品コード：200191861</p> <p>包装単位：1 個</p> 	<p>このフィルターをご使用いただくことによって、ミスト状の吸引物や、吸引ボトルからの液体状の水分がポンプ内に浸入することを防止します。感染予防にオススメです。</p>

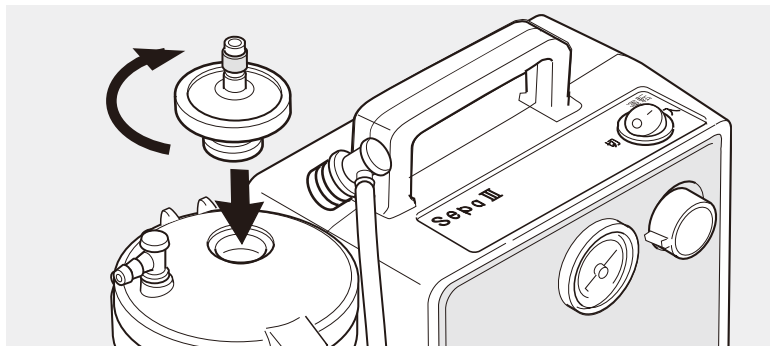
PTFE 吸引フィルターについて

⚠ 注 意

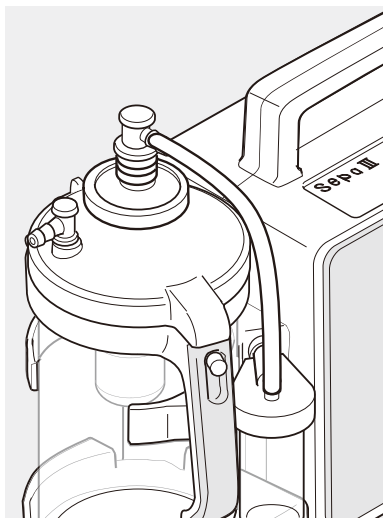
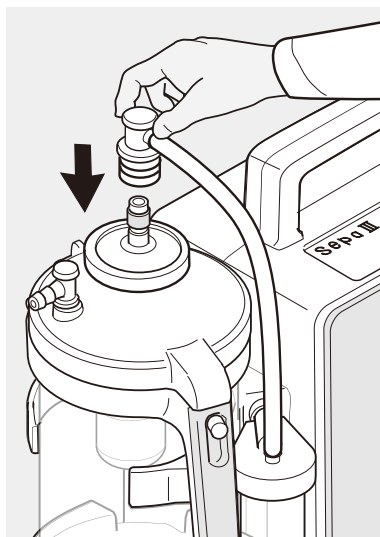
- ミスト状（霧状）になった吸引物が付着するため、徐々に目詰まりを起こします。吸引力が低下したと感じたら、早めに新しいフィルターと交換してください。
- 万一吸引物をフィルターに吸い込んでしまった場合には、1 回で目詰まりを起こし、吸引できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 滅菌・消毒しての再使用はできませんので、新しいフィルターと交換してください。
- 使用頻度や吸引物の性状等により、フィルターの交換時期は異なります。
- 目詰まりを起こした場合にすぐに交換できるように、常に予備用フィルターをご用意をしていただくことをおすすめします。
- アルコール等の溶剤や消毒液を流さないで下さい。（液体が通過してしまう場合があります）

PTFE 吸引フィルターの取付方法


白いパッキンがついている方をボトル頭部にねじりながら、はめ込みます。



ボトルカバージョイントを取付けます。



2. 交換部品

<p>① 吸引ホース （アダプター付） 商品コード：200191082 包装単位：1 個</p> 	<p>② ボトルカバー ー式 1.4L 用 商品コード：200191851 包装単位：1 個</p> 	<p>③ ボトルホルダー 1.4L 用（パープル） 商品コード：200191868 包装単位：1 個</p> 
<p>④ フLOAT COMP 商品コード：200191278 包装単位：1 個</p>  <p>※⑤は入っていません。</p>	<p>⑤ フLOAT ストッパー 商品コード：200191280 包装単位：1 個</p> 	<p>⑥ ボトルパッキン 1.4L 用 商品コード：200191254 包装単位：1 個</p> 
<p>⑦ 吸引ホース口 商品コード：200191858 包装単位：5 個</p> 	<p>⑧ ノズル 商品コード：200191859 包装単位：5 個</p> 	<p>⑨ 排気フィルター 商品コード：200191279 包装単位：1 個</p> 
<p>⑩ 吸引ボトル 1.4L 商品コード：200191264 包装単位：1 個</p> 	<p>⑪ フィルター 商品コード：200191265 包装単位：5 個</p> 	<p>⑫ トラップ管(ホース付) 商品コード：200191855 包装単位：1 個</p> 
<p>⑬ ネブライザーキットホルダー 商品コード：200191860 包装単位：1 個</p> 	<p>⑭ エアフィルター 商品コード：200191265 包装単位：1 個</p> 	<p>⑮ AC 電源コード 商品コード：200191865 包装単位：1 個</p> 

お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

3. オプション品（吸入用）

<p>ネブライザーマスク（大） 商品コード：400010041 包装単位：1個 承認番号：16300BZY00656000</p>  <p>単回使用品</p>	<p>ネブライザーマスク（小） 商品コード：400010040 包装単位：1個 承認番号：16300BZY00656000</p>  <p>単回使用品</p>	<p>トラキマスク（大） 商品コード：400010086 包装単位：1個 承認番号：21900BZX00654000</p>  <p>単回使用品</p>
<p>トラキマスク（小） 商品コード：400010087 包装単位：1個 承認番号：21900BZX00654000</p>  <p>単回使用品</p>	<p>ノーズピース 商品コード：140031140 包装単位：1個</p> 	<p>ポリ蛇管（15 cm） 商品コード：400011137 包装単位：1個</p> 
<p>蛇管コネクター 包装単位：1個</p> 		

お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

4. 交換部品（吸入用）

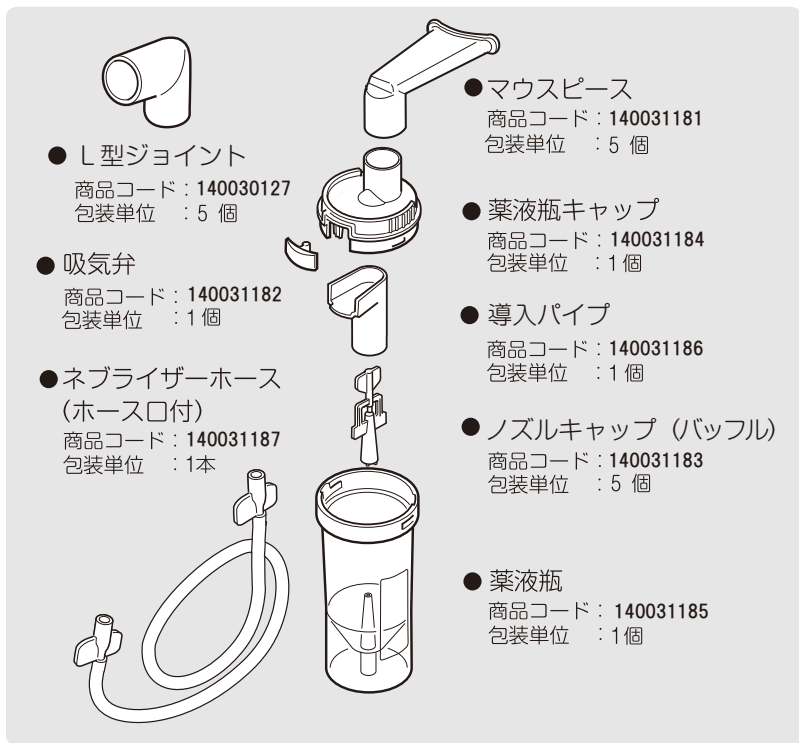
● ネブライザーキットC

（マウスピース・吸気弁・薬液瓶キャップ・導入パイプ・ノズルキャップ
薬液瓶・L型ジョイント・ネブライザーホース（ホース口付） 各1個ずつのセット）

商品コード：140031180

届出番号：11B1X00009000010

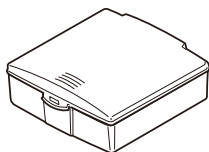
包装単位：1セット



● ネブライザーキット収納ケース

商品コード：200190072

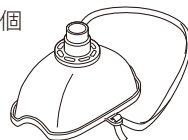
販売単位：1 個



● マスク（小）

商品コード：140030123

包装単位：1 個



お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

仕様

販 売 名	セパⅢ
認 証 番 号	305ADBZX00014000
形 式	NS3
類 別	機械器具 (32) 医療用吸引器
一 般 的 名 称 (JMDNコード)	電動式可搬型吸引器 (36616030) 非加熱式ネブライザ (35457000)
ク ラ ス 分 類	管理医療機器 (クラスⅡ)
最 大 吸 引 圧 力	-85kPa
吸 引 流 量	18 L / 分以上
吐 出 圧 力	0.25MPa
吐 出 流 量	10 L / 分
噴霧量 (g/ 分) ※ 1・2 (50/60Hz)	0.40 / 0.50 (吸気弁：非装着時) 0.23 / 0.28 (吸気弁：装着時)
噴霧粒子径 (μm) ※ 1 (50Hz/60Hz)	MMD※ 3 4.3 / 4.0 (吸気弁：非装着時) MMD※ 3 3.8 / 3.7 (吸気弁：装着時)
薬 液 瓶 容 量	8mL
電 源	100V ～ (50-60Hz)
消 費 電 力	115VA (50-60Hz)
電撃に対する保護の形式	 = クラスⅡ /  = B 形装着部
使 用 環 境 条 件	周囲温度 10 から 40℃ 相対湿度 30 から 75%
保 管 / 輸 送 環 境 条 件	周囲温度 - 10 から 60℃ 相対湿度 10 から 75%
本体寸法 (突起部含まず) (mm)	331 (W) × 136 (D) × 266 (H)
本 体 質 量	約 4.7 kg

上記性能には自社規格による公差があります。また、上記性能は出荷時のものであり、ご使用期間・頻度等により性能は低下してきます。

※ 1：常温 (25℃・50%RH)、生理食塩水使用時の値になります。使用環境や薬液の種類などにより数値は変化します。

※ 2：自然吸気時 ※ 3：全噴霧粒子の平均値です。(自社測定による代表値です)

EMC 適合

本製品は EMC 規格 (IEC 60601-1-2:2014) に適合しています。
ただし、他の 医療機器、電子機器との併用において、相互に
影響を生じる場合があります。本書ならびに添付文書に従って、
正しい取扱いをしてください。

本体 表示



= 交流電流



= 操作指示に従う



= クラス II



= B 形装着部

廃棄について

本器（付属品・別売品を含む）を廃棄する場合は、お住まいの
市区町村の指導に従ってください。

（環境汚染の原因となることがあります）

EMC 技術資料

【セバⅢ】は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC 60601-1-2：2014 に適合している装置です。

EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、本書に記載された EMC 情報に基づいて使用する必要があります。

- ・ 指定した付属品、オプション品以外を使用しないでください。機器の電磁エミッションを増加させるか、又は電磁イミュニティを減少させ、誤動作を引き起こす可能性があります。
- ・ 不適切な動作を引き起こす可能性があるため、他の機器と近接させて又は積み重ねて使用しないでください。
- ・ 携帯電話やスマートフォンなどの携帯型 RF 通信機器（アンテナケーブルや外部アンテナを含む）を 30cm 以内に近づけて使用しないでください。性能の低下が生じる可能性があります。

表 1 - エミッション適用規格および適合性

エミッション試験項目	適用規格	適合性
伝導及び放射 RF エミッション	CISPR 11	グループ 1、クラス B
高調波ひずみ	IEC 61000-3-2	非適用
電圧変動及びフリッカ	IEC 61000-3-3	非適用

表 2 - イミュニティ試験レベル

イミュニティ試験	適用規格	イミュニティ試験レベル
静電気放電	IEC 61000-4-2	± 8kV 接触 ± 2kV、± 4kV、± 8kV、± 15kV 気中 外装ポート
放射 RF 電磁界	IEC 61000-4-3	10V/m 80MHz ~ 2.7GHz 1kHz で 80% AM 外装ポート
RF 無線通信機器からの 近接電磁界	IEC 61000-4-3	表 3 参照
電氣的ファーストラン ジェント / バースト	IEC 61000-4-4	± 2kV 繰返し周波数：100kHz 交流入力電源ポート
サージ ライン - ライン間	IEC 61000-4-5	± 0.5kV、± 1kV 交流入力電源ポート
サージ ライン - 接地間	IEC 61000-4-5	非適用
RF 電磁界によって誘発す る伝導妨害	IEC 61000-4-6	3Vrms 0.15MHz ~ 80MHz 0.15MHz ~ 80MHz の間の ISM 及びアマチュア無線帯域内で 6Vrms 1kHz で 80% AM 交流入力電源ポート
電源周波数磁界	IEC 61000-4-8	30A/m 50Hz 又は 60Hz 外装ポート
電圧ディップ	IEC 61000-4-11	0% Ut 0.5 周期 位相角 0°、45°、90°、135°、180°、225°、270° 及び 315° 交流入力電源ポート
		0% Ut 1 周期及び 70% Ut 25/30 周期 単相 位相角 0° 交流入力電源ポート
短時間停電	IEC 61000-4-11	0% Ut 250/300 周期 交流入力電源ポート
注記： Ut は、検査レベルを加える前の交流電源電圧である。		

表 3 - RF 無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様

試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	通信サービス	変調	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ 試験レベル (V/m)
385	380 ～ 390	TETRA 400	パルス変調 18Hz	1.8	0.3	27
450	430 ～ 470	GMRS 460 FRS 460	周波数変調 ± 5kHz 偏移 1kHz 正弦波	2	0.3	28
710	704 ～ 787	LTE Band 13, 17	パルス変調 217Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800 ～ 960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 18Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700 ～ 1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 217Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400 ～ 2570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 217Hz	2	0.3	28
5240	5100 ～ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

アフターサービスについて

保証の内容とご確認

1. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
2. 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理をご依頼されるとき

本器をご購入いただいた販売店に修理依頼の旨と保証書に記入されている製品名・製造番号・お買い上げ日をご連絡ください。



修理を依頼されるときのご注意

1. お客様ご自身での修理・分解や改造等をされると、故障原因が判明できないうえ、事故の原因となりますので、修理をお引受けできない場合があります。
2. 本器を点検または修理として戻される場合には、吸引ボトル内の分泌物は必ず捨て、消毒または滅菌を行った後にお戻しください。なお、感染症等の恐れがある場合にはお引受けできませんので、あらかじめご了承ください。



耐用期間について

本器の耐用期間は、ご購入後**7年**です（当社データによる自己認証）。ただし、推奨された環境で使用され、本書ならびに添付文書にしたがった「保守・点検」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。耐用期間を超過した製品の点検・修理につきましてはお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。



補修用部品の最低保有期間について

補修用部品とは、機器の性能・安全性を維持するために必要な部品です。当社は、補修用部品を製造中止後7年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店又は本書巻末の製造発売元にお問い合わせください。

発売元



最適な提案で医療福祉社会に貢献する

新鋭工業株式会社

本社 〒362-0055 埼玉県上尾市平方領領家308-2

東京支店	〒113-0033	東京都文京区本郷3-12-5	TEL. 03-3816-0444	FAX. 03-3816-0406
大阪支店	〒541-0042	大阪府中央区今橋1-6-1	TEL. 06-6228-3311	FAX. 06-6228-3321
札幌支店	〒060-0907	札幌市東区北七条東4丁目28-3	TEL. 011-741-7752	FAX. 011-753-2703
仙台支店	〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町10-10	TEL. 022-288-4660	FAX. 022-288-4661
新潟支店	〒951-8136	新潟市中央区関屋田町1-1	TEL. 025-233-0592	FAX. 025-233-0573
長野支店	〒390-0835	長野県松本市高宮東5-13	TEL. 0263-24-2840	FAX. 0263-27-3152
名古屋支店	〒466-0023	愛知県名古屋市昭和区石仏町2-1-40	TEL. 052-859-1333	FAX. 052-859-1334
山陰支店	〒683-0001	鳥取県米子市皆生温泉2-20-27	TEL. 0859-34-5675	FAX. 0859-34-5708
岡山支店	〒700-0982	岡山市北区中島田町1-7-8	TEL. 086-235-0323	FAX. 086-235-0324
広島支店	〒733-0822	広島市西区庚午中4-10-36	TEL. 082-275-0740	FAX. 082-275-0760
福岡支店	〒813-0034	福岡市東区多の津5-11-25	TEL. 092-622-0055	FAX. 092-622-0052
沖縄支店	〒901-2103	沖縄県浦添市仲間1-19-6	TEL. 098-876-4262	FAX. 098-876-6097

アフターサービス・製品について等のお問い合わせ先

上記の各支店にご連絡ください。

<https://www.shinei.me>



製造販売元

株式会社 三幸製作所

〒331-0077 埼玉県さいたま市西区中釘652番地

医療機器製造販売業許可番号 11B1X00012

※製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。



<https://sanko-med.com>